

第 15 回廃棄物学会研究発表会 参加案内

2004 年 11 月 17 日(水) ~ 11 月 19 日(金)

サンポートホール高松、香川県県民ホール

も く じ

挨拶・特別企画

第 15 回廃棄物学会研究発表会の開催にあたって	2
特別シンポジウム	3
年会委員会企画シンポジウム	3
豊島・直島見学会(施設見学会)	3

参加申込・会場アクセス・行事紹介

参加申込方法	4
会場へのアクセス・緊急時の対応について	4
行事案内	5
(1) 行事紹介	5
(2) 研究発表会(口頭発表・ポスター発表)	5
(3) 平成 15 年度廃棄物学会賞受賞者記念講演	5
(4) 国際セッション	6
(5) 市民展示・若手の会	6
(6) 懇親会	6
(7) 豊島・直島見学会(申込案内)	7
(8) 小集会(一覧)	8
発表ガイドライン	10

研究発表会プログラム、会場案内図

タイムスケジュール	12
セッションプログラム	13
会場案内図	36

ご 注 意 ~ 例年と異なる点があります。必ずお読みください。

- 参加申込について(詳細については、p4の参加申込方法を参照してください。)
印刷版論文集をご希望の方は、事前申込みをお願いします。当日受付ではご希望に添えない可能性があります。
事前申込みの締め切りは、10月15日(金)(振込みは10月20日)です。
- 発表方法について(詳細については、p10、11の発表ガイドラインを参照してください。)
p13からのセッションプログラムに「ポスター-1」または「ポスター-2」と記載されている場合は、ポスター発表です。
ポスター-1: 1日目発表、ポスター-2: 2日目発表で、その他は口頭発表です。
ポスター発表の場合は、発表ガイドライン(p11)を参照してポスターを作製し、当日持参してください。
口頭発表の場合は、プロジェクターまたはOHPを利用しての発表となります。プロジェクターを利用する場合には、事前にpptファイルの送付が必要です(締切り: 11月5日必着)。(詳細はp10をご覧ください。)
- 豊島・直島見学会(施設見学会)について(詳細はp3、p7をご覧ください。)
見学会の申込みは全て事前申込で、当日受付はありません。定員になり次第、締切りとさせていただきます。
今年の見学会は日程が3コースあります(内容は同じ)。発表の予定がある方はp13からのセッションプログラムにて発表時間をご確認の上、発表に支障のない時間帯をお申込みください。
見学会への参加には、研究発表会への参加が必要です。研究発表会の事前申込みも併せて行ってください。
- 台風や地震などの緊急時の対応については、臨時ホームページ(携帯電話のweb閲覧機能に対応、p4参照)でお知らせします。

第 15 回廃棄物学会研究発表会の開催にあたって

年会実行委員会委員長
香川県環境森林部長

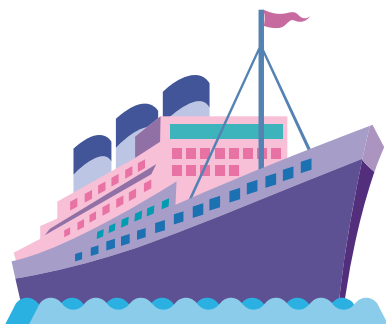
山本 伸二

第 15 回廃棄物学会研究発表会が、香川県高松市において盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

廃棄物学会が、1990 年に設立されて以来、廃棄物の適正な処理だけでなく、製造、流通段階から廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進するなど、真の意味での循環型社会の構築を目指して、専門的な知識と技術をもって多面的かつ包括的に調査研究され、その情報を広く提供するなど、社会に大いに貢献されておられることに対し、深く敬意を表します。

香川県では、「みどり・うるおい・にぎわいの創造」を基本目標として、明日の香川づくりを進めております。特に環境問題は、平成 14 年 9 月に「環境立県かがわ」を宣言し、本県ならではの美しい瀬戸内海や里山に代表される本県の自然環境を保全し、環境負荷をできるだけ少なくするよう、河川・海岸・ため池などの環境美化や水質改善をはじめ計画的な緑化の推進、太陽光発電の導入などさまざまな取り組みを行っています。さらに、豊島問題を教訓として、不適正処理の防止や資源循環型社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進しています。このような中、全国の会員の皆様が平素の研究の成果を持ち寄られ、研鑽を深められますことは誠に意義深いことであり、この研究発表会が実り多きものとなることを念願しております。

さて、会場となりますサンポート高松は、かつて宇高連絡線が発着していた港を中心に、およそ 20 年間をかけて整備を進めてきた新しい都市拠点として、今春グランドオープンし、多くの人々でにぎわっております。また、秋には、金刀比羅宮の 33 年に一度の大遷座祭や全国豊かな海づくり大会が開催されるなど、全国的なイベントが数多く展開されます。さらに、本県でロケが行われた 3 本の映画が相次いで公開されており、「世界の中心で、愛をさけぶ」が全国で大ヒットしているのをはじめ、県内で全てのロケが行われた「機関車先生」が公開され、四国遍路を題材とした「ロード 88」もこの秋公開されますので、是非、ご鑑賞いただきたいと思います。皆様方には、この機会に、これらの映画のロケ地にもなった瀬戸内海の美しい島々や栗林公園、屋島などの観光、本場のさぬきうどんや新鮮な海の幸などを楽しんでいただくことを願い、多くの会員の皆様のご参加をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



特別シンポジウム

テーマ：「廃棄物問題とどう取り組むか ～技術・経済・こころの視点から～」

現在、循環型社会づくりは着々に進められてきているが、完全なリサイクル社会にはなお長い道のりがある。「経済・資源・環境のトリレンマ」という言葉に象徴されるように、次世代に対して、このまま現在われわれが享受している豊かさを引き継ぎ、かつ持続可能な社会を保証することは難しいのではないかとする見方も徐々に広がってきている。

「技術にはどこまで期待できるのか」、「経済の仕組みを変える必要はないのか、それはどのように実現可能なのか」、「果たしてわれわれのライフスタイルや価値観を変えることができるのか」等々、「廃棄物問題」を題材にしつつ、「技術」、「経済」、「こころ」の側面から、3人の方々にお話しいただき、参加した人とともに、望ましい社会を考える場にしたい。

日時： 11月18日(木) 13:15～15:15

場所： サポートホール高松 3階 大ホール

コーディネータ： 青山 勲 (岡山大学資源生物科学研究所)

パネリスト： 佐和 隆光 (京都大学経済研究所)
田中 勝 (岡山大学大学院自然科学研究科)
野田 大燈 (曹洞宗大本山總持寺後堂)

年会委員会企画シンポジウム

テーマ：「豊島問題から何を学ぶか - 循環型社会づくりに向けて -」

四半世紀続いた豊島産業廃棄物問題については2000年に公害調停が成立し、関係主体の参加・協働により新しい関係や価値観をつくる「共創」の理念が確認された。また、昨年より豊島廃棄物等処理事業が開始され、技術的・物理的には解決に向けて着実に動き始めている。一方、全国的に見ると、青森・岩手、岐阜などにみられる産業廃棄物の不法投棄事件は後を絶たない。企業の社会的責任や循環型社会形成の必要性が一般に浸透してきた現在においても、大量生産・消費・廃棄社会を支えてきた都市や動脈産業の責任が直接問われることは少なく、その矛盾は地方に押し付けられている。豊島の教訓が十分生かされているか、豊かさとは何かについて、改めて問わざるを得ない。本シンポジウムでは豊島問題に関わってきた論客を迎え、豊島問題から何を学ぶかについて、社会的責任、制度、技術などの観点から議論する。廃棄物学会研究発表会が高松で開催されることになった本年、学会として豊島問題を改めて見つめ直すとともに、循環型社会づくりに向けた課題を探りたい。

日時： 11月17日(水) 16:30～18:00

場所： 香川県県民ホール 本館2階 グランドホール

コーディネータ： 高月 紘 (京都大学環境保全センター)

パネリスト： 石井 亨 (廃棄物対策豊島住民会議)
佐藤 雄也 (土壌環境センター)
永田 勝也 (早稲田大学理工学部)
山本 伸二 (香川県環境森林部)

豊島・直島見学会(施設見学会)

大量消費・大量廃棄型社会がもたらした現代を象徴する豊島産業廃棄物不法投棄事件。循環型社会形成のために、私たち一人ひとりが何をなすべきか、この問題を教訓にみんなで考えてみませんか。先端技術を駆使した豊島産業廃棄物の処理施設やエコタウン施設(有価金属リサイクル施設)を見学し、住民、事業者、行政が一体となって進める環境調和型まちづくりについて考えるための豊島・直島の豊島産業廃棄物等処理事業と直島のエコタウン事業の施設見学を企画しました。

日程： Xコース	11月18日(木)	8:30～12:50	定員100名
Yコース	11月19日(金)	8:30～12:50	定員100名
Zコース	11月19日(金)	13:00～17:20	定員100名

見学施設： 豊島産業廃棄物不法投棄現場(暫定的な環境保全措置、高度排水処理施設、中間保管・梱包施設、こころの資料館)、直島環境センター等(中間処理施設、有価金属リサイクル施設)

コース内容・参加費・申込方法： p.7をご覧ください。

参加申込方法

(1) 事前申込：

昨年から印刷版論文集に加え、CD-ROM 版論文集を作成しています。この冊子に同封の参加申込方法をお読みの上、参加申込書に漏れなく記入し、廃棄物学会事務局まで FAX 又は郵送し、参加費を下記振込先へ振り込んでください（申込書の送付は振込作業より先に行ってください）。入金を確認し、登録完了後、参加証及び講演論文集（CD-ROM 版で希望の場合）を郵送いたします。お届けは 11 月上旬頃となります。なお、事前申込をされても、印刷版論文集は当日の受取りとなります。

(2) 事前申込締切：

10月15日(金)・・・ 振込みは 10 月 20 日までをお願いします。これ以降に振り込まれますと、参加証がお手元に届かない場合がありますのでご注意ください。

(3) 参加費：正会員並びに公益・賛助会員所属 8,000 円

学生会員・登録団体市民会員 4,000 円

非会員 12,000 円

論文集を両タイプ希望の場合は、上記にプラス 3,000 円。

(4) 申込先：

〒108-0014 東京都港区芝 5-1-9 豊前屋ビル 5 階 廃棄物学会事務局 FAX：03-3769-1492

(5) 振込先：

銀行名；みずほ銀行 芝支店（店番号：054）

口座名；廃棄物学会研究発表会（ハクブツガクケンキウカイヨカイ）

口座番号；普通 2504706

【振込手数料はご負担願います】

(6) 当日申込：

事前申込ができなかった方は、会場にて当日受付をご利用ください。参加費は事前申込と同じです。ただし、印刷版論文集は事前申込み数を元に印刷部数を決定しますので、ご希望に添えないことがございます。現金払いのみで、後払いは一切承っておりません。なお、参加費は釣銭のないようご用意願います。

会場へのアクセス

JR 高松駅から徒歩 3 分

ことでん高松築港駅から徒歩 5 分

高松港から徒歩 2 分

高松空港からことでん空港連絡特急バス

高松駅行き乗車 40 分

受付はサンポートホール高松 4 階です

サンポートホール高松(高松市文化芸術ホール)

〒760-0019 香川県高松市サンポート 2-1

TEL：087-825-5000 FAX：087-825-5040

<http://www.sunport-hall.jp>

香川県民ホール

〒760-0030 高松市玉藻町 9-10

TEL：087-823-3131 FAX：087-823-3124

<http://www.kimai-net.gr.jp/kyouiku/kenminhal/hall.htm>



緊急時の問合せ先

地震や台風などの緊急時における学会の開催等の対応については、

学会の臨時ホームページ：<http://jswme.gr.jp/info/> でお知らせします。

(携帯電話の web 閲覧機能に対応していますが、一部の機種では表示できない可能性があります。)

この臨時ホームページは 11 月 10 日(水)～11 月 19 日(金)のみ接続できます。

その他の場合の連絡先 ～11 月 15 日(月) 廃棄物学会事務局 : 03-3769-5099(11 月 16 日(火)～19 日(金)不在)

11 月 15 日(月)～19 日(金) 大会本部 : 090-8054-4357

行事案内

行 事	日 時	会 場 年会委員会企画シンポジウム、懇親会以外はサンポートホール高松です。	備 考
特別シンポジウム	11月18日(木)13:15-15:15	大ホール(3F)	一般公開企画
年会委員会企画シンポジウム	11月17日(水)16:30-18:00	香川県県民ホール グランドホール(本館 2F)	一般公開企画
廃棄物学会賞 受賞者記念講演	11月17日(水)13:30-14:15	第1会場(第1小ホール)	論文賞1件、奨励賞2件
	11月17日(水)13:30-14:00	第2会場(第2小ホール1)	論文賞2件
研究発表会	11月17日(水)9:30- 11月18日(木)9:00- 11月19日(金)9:00-	P12にてご確認ください	
ポスター発表	ポスター1:11月17日(水)11:30-13:00 ポスター2:11月18日(木)11:00-12:30	展示場(1F)	ポスター掲示期間: 11月17日(水)11:00-18日(木)17:00 *19日(金)10時まで掲示して 頂いている発表もあります。
豊島・直島見学会	X:11月18日(木)8:30-12:50 Y:11月19日(金)8:30-12:50 Z:11月19日(金)13:00-17:20	詳細はp3をご覧ください 申込方法はp7をご覧ください	
国際シンポジウム	11月17日(水)14:15-16:15	第8会場(第3小ホール)	使用言語:英語
国際セッション	11月17日(水)11:30-13:00	展示場(1F)	ポスター掲示期間: 11月17日(水)11:00-18日(木)17:00 *19日(金)10時まで掲示して 頂いている発表もあります。
小集会	11月17日(水)18:30-20:30 11月18日(木)15:30-17:30 11月19日(金)13:30-15:30	P8、9にてご確認ください	
市民展示	11月17日(水)午後 - 11月19日(金)午前	市民ギャラリー(1F)	一般公開企画
若手の会	11月17日(水)18:30-20:30	第2会場(第2小ホール1)	
懇親会	11月18日(木)18:30-20:30	全日空ホテルクレメント高松	

研究発表会(口頭発表・ポスター発表)

507件(口頭発表:334編、ポスター発表:173編)

ポスター発表に対して「優秀ポスター賞」の表彰を行います。優秀ポスター賞は二日目懇親会において審査結果の発表・表彰を行うと共に、後日廃棄物学会ニュース等に掲載いたします。

平成15年度廃棄物学会賞受賞者記念講演

11月17日(水)13:30~14:15 第1会場
論文賞1件、奨励賞2件の講演を行います。
11月17日(水)13:30~14:00 第2会場
論文賞2件の講演を行います。

国際シンポジウムおよび国際セッション

国際委員会の企画による国際シンポジウムを開催します。なお、国際セッションはポスター発表のみです。

(1) 国際シンポジウム (使用言語：英語)

テーマ「バイオマスのエネルギー利用 - 日韓の取り組み状況と課題」(仮題)

バイオマス資源のエネルギー利用に対する取り組みが国際的に活発になってきている。わが国でも、地球温暖化の防止、循環型社会の形成などの観点から、「バイオマス日本総合戦略」を国の施策として方針が定められ、エネルギー利用も含まれている。この中で、廃棄物を中心としたバイオマスのエネルギー利用につき、日韓の取り組み状況を紹介し、今後の展望、課題について討論する。

日時：11月17日(水) 14:15～16:15

場所：第8会場

コーディネータ：杉山涼子 (杉山・栗原環境事務所、国際委員会委員)

基調講演：高見澤一裕 (岐阜大学)

パネリスト：経済産業省又は環境省：バイオマス日本の紹介(検討中)

松村幸彦 (広島大学)：バイオマスエネルギー利用技術の紹介

韓国：国としての取り組み(検討中)

韓国：大学又は企業の研究開発あるいは実施状況の紹介(検討中)

(2) 国際セッション

日時：11月17日(水) 11:30～13:00

場所：展示場(1F)

30件(すべてポスター発表)

市民展示

一般公開企画(参加費無料)

期間：11月17日(水)午後～11月19日(金)午前

場所：サンポートホール高松 1階 市民ギャラリー

出展団体：グリーンコンシューマー高松、香川雨水利用を進める会、どんぐりネットワーク、かがわ「地球村」、高松エコマイスター会議、善通寺こどもエコクラブ、環境まちづくりの会、国営讃岐まんのう公園里山の会、廃棄物対策豊島住民会議、エコアイランドなおしま推進委員会、高松市環境プラザ

若手の会

日時：11月17日(水) 18:30～20:30

場所：第2会場

若手の会では、学生会員ならびに“もと”学生会員が集まって、互いの親睦を深め、研究を含めた情報交換の場を提供します。今年度は若手の会総会のほか、「学生セッション」と称する学生主体による全員参加型パネルディスカッションを開催する予定です。その後懇親会(有料)も予定しています。奮ってご参加ください。準備の都合上、参加希望者は事前に、下記までご連絡ください。

詳しい情報は、<http://www.jswme.gr.jp/wakate/> をご覧ください。

参加希望連絡先：若手の会事務局 鈴木慎也 wakate@jswme.gr.jp FAX：092-863-8248

懇親会

日時：11月18日(木) 18:30～20:30

場所：全日空ホテルクレメント高松(飛天の間)

参加費：6,000円 ただし、学生会員・登録団体市民会員は3,000円

当日会場にてお支払いください。

申込方法：2日目(18日)午前より受付いたします。研究発表会参加証を懇親会受付にお出しください。

豊島・直島見学会（申込案内）

申込方法：

必ず、同封の宿泊・施設見学会のお申込み手続きのご案内をご覧ください。

取扱窓口は、JTB高松支店です。別紙申込書に必要事項を記入の上、FAXでお申込みください。

先着順で受付し、定員になり次第締切ります。申込書を着信したら受信確認のFAXを返信します。

申込締切後（10月15日）受付完了者には見学会確認書、請求書を送付しますので、旅行代金等を振り込んでください。

施設見学会には、研究発表会への参加が必要です。研究発表会の事前申込みをあわせて行ってください。

参加費：3,500円（別途、通信連絡費500円が必要、いずれも前払いとなります。）

日 程：Xコース 11月18日(木) 8:30～12:50 定員100名

Yコース 11月19日(金) 8:30～12:50 定員100名

Zコース 11月19日(金) 13:00～17:20 定員100名

発表の予定がある方はp13からのセッションプログラムにて発表時間をご確認の上、発表に支障のない時間帯をお申込みください。

コース：受入の関係上、高松港を2班に分かれて出発します。

コース	月 日	行 程					
X	11月18日(木)	高松港	9:10	10:30	10:50	12:10	高松港
		8:30	直島	豊島	12:50		
		9:10	10:30	10:50	12:10		
Y	11月19日(金)	高松港	9:10	10:30	10:50	12:10	高松港
		8:30	直島	豊島	12:50		
		9:10	10:30	10:50	12:10		
Z	11月19日(金)	高松港	13:40	15:00	15:20	16:40	高松港
		13:00	直島	豊島	17:20		
		13:40	15:00	15:20	16:40		

見学施設：豊島廃棄物不法投棄現場（暫定的な環境保全措置、高度排水処理施設、中間保管・梱包施設、こころの資料館）、直島環境センター等（中間処理施設、有価金属リサイクル施設）

その他：

- ・見学会の申込みと同時に宿泊の申込みをされた場合には、見学会の通信連絡費は不要となります。
- ・参加者の都合によりキャンセルされる場合には、参加費および通信連絡費の返却は行いません。
- ・天候不順等により、見学会が中止になった場合には参加費のみ返却いたします。ただし、通信連絡費は返却しません。



小集会一覧(1)		
日時・会場	題 目	(開催部会名)
11月17日(水) 18:30 - 20:30 第4会場	「不法投棄の現状と対策について」(仮題)	(有害廃棄物研究部会・行政研究部会)
<p>趣旨：廃棄物の不法投棄、不適正処理対策として、廃棄物処理法による規制、監視活動等により、未然防止 早期発見 汚染拡散防止 原状回復といった一連の施策が講じられている。しかし、依然として新たな不法投棄があとを絶たない。小集会では、早期発見、原状回復の技術的内容やその困難さ、対応に要する多額な財政負担等、不法投棄の現状について報告し、不適正処理を防止するための技術的、制度的対応のあり方について議論を深めたいと考えています。なお、本小集会は、有害廃棄物部会と行政研究部会との初めての共同開催によるもので、両部会それぞれの特徴を出せるよう企画いたしました。より多くの皆様のご来場をお待ち申し上げる次第です。</p> <p>(仮題) 不法投棄場の原状回復技術の現状と課題 (検討中) (仮題) 未然防止・早期発見のための監視システムの現状と課題 大迫政浩(独)国立環境研究所) (仮題) 廃棄物不法投棄の現状と対策 環境省(交渉中) (仮題) 産業廃棄物の不法投棄の現状と対策 (交渉中) (仮題) 自治体における不法投棄の現状と対策 行政研究部会メンバー 質疑応答・討議等</p>		
11月17日(水) 18:30 - 20:30 第5会場	「廃棄物計画と適正処理 資源循環との関係は？」	(廃棄物計画部会)
<p>趣旨：多くの国民が共通目標としている「循環型共生社会の形成」には、資源循環が重要な役割を担っており、その中核をなすのが適正処理である。こうした考えのもと、廃棄物計画部会の適正処理研究グループでは、グループメンバー各自が廃棄物の発生抑制、再使用、再利用、適正処分のそれぞれの段階における適正処理の研究を進めている。本小集会では、適正処理研究グループのメンバーがパネラーとなり、社会情勢の変化に伴う技術の動向を踏まえて資源循環と適正処理の関係がいかにあるべきか、廃棄物計画論とどのように結びつけるのかを各自の視点で発表する予定である。循環型共生社会の形成には、環境負荷の少ない資源循環ができる経済システムへの移行が必要であるが、資源循環を行うための適正処理の方向性はさまざまであり、その実現には多く知恵と技術が必要となる。そのため、本小集会では適正処理を廃棄物計画論に反映させるために当グループのメンバーがどのような視点を持って研究を進めるべきかを会場のみならずディスカッションしたいと考えています。廃棄物計画論に興味をお持ちの方は、ふるってご参加くださるよう、お願い申し上げます。</p>		
11月17日(水) 18:30 - 20:30 第6会場	「埋立地の安定化を調査する～「関東処分組」からの提案を受けて！！」	(試験検査法研究部会)
<p>趣旨：廃棄物の分野で、廃棄物や排水、排ガス等の性状や化学成分の分析手法についてはマニュアル等が多々存在するが、そもそも、どこで、どうやって、どれくらいサンプルを採ってくればよいのか、また、それを分析して施設や環境の(基準値をクリアしているとかではなく)何がわかるのか、という方法について体系づけて記述されたものは存在しない。特に埋立最終処分場は、他の廃棄物管理施設(例えば焼却施設)と比較して技術的手法が、主に化学・生物的作用による「安定化」という自然現象に大きく依存しており、その進行状況や周囲環境への影響を捉え、なんらかの制御や改善対策を講ずるためには、現場における調査またモニタリングが特に重要となる。本小集会は、当部会メンバーも多数参加して活動している地方環境研究所が主体となって組織された自主研究会「関東処分組」が編纂を進めている「埋立地現場調査法」を紹介する。「廃棄物学会員に使いものになるかどうか、意見を伺いたい(勝負を挑みたい)」ということなので、活発な意見交換の場になるよう多くの方の参加を期待している(特に埋立部会の方々の参加を期待します)。</p>		
11月17日(水) 18:30 - 20:30 第7会場	「バイオマス系廃棄物と微生物反応」(仮題)	(バイオマス系廃棄物研究部会)
<p>趣旨：RDF や生ゴミ処理機の爆発事故がしばしば見受けられる。バイオマス系廃棄物を有効利用するには微生物との関わりを慎重に考えることが不可欠である。そして、管理した状態でのバイオマス系廃棄物の資源化が望まれる。そのもっとも発展した状態がバイオマスリファイナリーであろう。この小集会では、バイオマス系廃棄物と微生物反応について、不適正管理での事例からリファイナリーの成功例まで紹介して、バイオマス系廃棄物と微生物反応について議論を深めたい。</p> <p>プログラム：部会長挨拶 趣旨説明 講演：RDFの爆発と水素発酵 大宮邦雄 (名城大学) メタン発酵 松田従三 (北海道大学) コンポスト 中崎清彦 (静岡大学) アルコール発酵 木田建次 (熊本大学) キシリトール発酵 高見澤一裕 (岐阜大学) アセトンブタノール発酵 園元謙二 (九州大学)</p>		

小集会一覧(2)		
日時・会場	題 目	(開催部会名)
11月18日(木) 15:30-17:30 第8会場	「容器リサイクルのコストと容器包装リサイクル法」(仮題)	(社会・経済部会、消費者市民研究部会)
趣旨: 容器包装リサイクル法が制定されてまもなく10年になるとうしている。この法律では施行後10年でそのしくみを再検討することとしており、中央環境審議会でもその検討が始まっている。こうした見直しに向けた議論はさまざまに行われつつあるが、その焦点の一つは費用負担のあり方であろう。社会・経済部会LCC分科会では、これまで独自に事業者および自治体の容器リサイクル費用の実態および自治体間の費用の違い等について調査・分析を行ってきた。また消費者市民研究部会は、市民の視点からみた望ましい容り法のあり方について検討してきた。本小集会ではこれらの成果を踏まえ、さらに海外事例の紹介も交えて、今後の容器包装リサイクル法のあり方について議論したいと考えている。		
1. 基調講演: 郡篤孝(社会・経済部会 部会長)		
2. 「容器リサイクルのコスト~事業者、および、自治体の費用(仮)」 大川隆司(社会・経済部会 LCC研究分科会)		
3. 「市民が望む容器包装リサイクル法(仮)」 羽賀育子(消費者市民研究部会 部会長)		
4. パネルディスカッション コーディネータ: 郡篤孝、パネラー: 上記メンバー+自治体担当者を予定		
11月19日(金) 13:30-15:30 第2会場	「循環型社会における埋立地のあり方を考える」	(埋立処分研究部会)
趣旨: 循環型社会を迎えようとして、埋立処分場のあり方が問われている。すなわち、埋立用地確保が、周辺住民の理解が得られず、困難となっている場合が多く見られる。また、色んな形の最終処分場が提案されている。このような現状を、世界の動きも視野に入れて、情報整理すると共に、将来、埋立処分場はどのような方向に進むべきかを考える。		
プログラム: 1. 司会挨拶		
2. 「循環型社会における埋立地のあり方を巡る最近の議論(仮)」 田中信壽(北海道大学)		
3. 「最終処分される処理残渣の量と質に関する予測研究(仮)」 谷川 昇(北海道大学)		
4. 「世界の埋立処分の現状と将来トレンドに関する研究(仮)」 松藤敏彦(北海道大学)		
5. 「重金属・有機化学物質の安定化に関する研究(仮)」 宮脇健太郎(九州大学)		
6. 「資源保管型埋立地に関する研究(仮)」 樋口壮太郎(福岡大学)		
7. 「最終安定化物理埋立地に関する研究(仮)」 東條安匡(北海道大学)		
8. 「低負荷微生物反応器型埋立地の関する研究(仮)」 島岡隆行(九州大学)		
9. 「埋立地修復に関する研究(仮)」 平野文昭(福岡大学)		
10. フロアーとの討論		
11月19日(金) 13:30-15:30 第6会場	「戦後の廃棄物学と岩井重久」(仮題)	(ごみ文化研究部会)
趣旨: 日本の廃棄物学は、戦後当初においては、主として公衆衛生の見地から、医系出身者によって担われ、また内容的にもし尿処理やコンポストに重点が置かれていた。しかし、わが国の経済発展とともに、廃棄物の内容も、それに対する考え方も大きく変わり、今日では、環境問題から資源問題までも視野にいれ、工学系を中心に政治、経済分野などからさまざまなアプローチがなされている。		
本小集会では、このような廃棄物をめぐる戦後の状況と、それに対応してきた廃棄物学について、その先導的・中心的役割を果たされた故岩井重久先生の軌跡を通して振り返る。また、このように急激に変化してきた廃棄物に関わる歴史を残そうとする「ごみ文化研究」の役割とそのあり方について、会場からも意見を求め考える。		
プログラム: 1. ごみ文化研究部会からの挨拶 松藤康司(福岡大学)		
2. 基調報告「戦後の廃棄物学をめぐる状況とごみ文化研究の役割」(仮題) 占部武生(龍谷大学)		
3. 特別講演「岩井重久先生とその足跡」(仮題) 高月 紘(京都大学)		
4. 討論「ごみ文化研究への要望と今後の活動を考える」 司会 石井明男(パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル)		
11月19日(金) 13:30-15:30 第7会場	「マテリアル・ケミカル・サーマルどの選択が正しいの? 容リプラスチックの未来」(仮題)	(リサイクルシステム技術研究部会)
趣旨: 今年度部会テーマ「素材としてのプラスチックに着目する - 『市民』『事業者』『行政』の立場から-」に基づき、今年の格好のテーマである容器包装リサイクル法対象のプラスチックの今後に焦点を当てる。それぞれの立場の有識者をお招きし、来年度改正に向けて検討が始まった容り法の現状(重い自治体負担、乏しい発生抑制インセンティブ、増えるペットボトル・減るリターナブル容器、東京都廃棄物審議会による廃プラスチックの「埋立不適物」答申、ボトル to ボトル等の新技術の進展等)を踏まえつつ、最適なシステムのあり方を会場の参加者と共に考えていきたい。		
プログラム: ・部会長挨拶: 青山俊介((株)エックス都市研究所)		
・容リプラスチックの現状について		
・パネルディスカッション パネリスト(予定) 崎田裕子氏(環境ジャーナリスト)		
行本正雄氏(JFEホールディングス(株))		
滝田靖彦氏(プラスチック容器包装リサイクル推進協議会)		
古澤康夫氏(東京都環境局)		
・質疑応答		

発表ガイドライン

口頭発表

第 15 回研究発表会においては、一般口頭発表の形式として液晶プロジェクターと OHP による講演が選択できます。

1. 共通事項

- ・発表者であっても参加申込み、参加費は必要です。
- ・講演時間に遅刻した場合は発表できないことがあります。
- ・論文受付時点で申請した登壇者を変更する場合は、11 月 12 日（金）までに廃棄物学会事務局論文受付係（FAX:03-3769-1492）まで FAX にて届け出てください。ただし、他に登壇予定がある発表者への変更は認められません。
- ・発表の講演時間は、発表 10 分、質疑応答 5 分の計 15 分です。時間を超過した場合には、発表の途中でであっても座長に打ち切られることがあります。
- ・聴衆者に良く理解されるような発表を行ってください。

2. OHP 利用者

- ・OHP は、1 cm 角以上の文字で単純なグラフ、スケッチを用いてシンボリックな表記をしてください。

3. 液晶プロジェクター利用者

液晶プロジェクター利用は、事前に講演ファイルをお送り頂いた発表者に限らせて頂きます。いくつかの制約に関してご不便をおかけしますが、スムーズな進行を期すためとご容赦いただき、以下の注意事項に従ってファイルを作成してください。

(1) ファイルの作成について

講演で使用されるファイル（講演ファイル）のインストールと動作確認を事前に行います。

- ・ファイル形式等：講演ファイルは Microsoft PowerPoint® で作成し、ファイルの容量は最大でも 10MB 程度に収まるようにお願い致します。
- ・ファイル名：「セッション番号 演者の氏名.ppt」としてください。（例：「A1-1 廃棄物太郎.ppt」）
- ・ファイルの送付：3.5 インチ 2HD フロッピーディスク、MO または CD-R にて下記まで送付してください。送付いただくメディア内には、講演ファイルのみを入れてください。メディアのラベル上に、ファイル名、連絡先の電子メールアドレス（講演ファイル受領の連絡を電子メールで致します）を必ずお書き添えください。ファイルの送付後 11 月 11 日までに確認の連絡がない場合は、学会事務局（Tel：03-3769-5099）までご連絡ください。
- ・締切り：**11 月 5 日（金）必着**
- ・送付先：〒108-0014 東京都港区芝 5-1-9 豊前屋ビル 5 階 廃棄物学会事務局 研究発表会 ppt ファイル受付係

(2) 発表当日

- ・各講演会場に講演ファイルをインストールしたノートパソコンと液晶プロジェクターを用意します。講演ファイルは大会終了後にハードディスク上から消去致します。
- ・液晶プロジェクターに接続されるノートパソコンのオペレーティングシステムは Microsoft Windows® XP で、使用ソフトは PowerPoint® 2002 です。各会場に配置されるプロジェクターの解像度は XGA(1024×768)です。
- ・ノートパソコンは演台に設置しますので、講演者自らがノートパソコンを操作し、講演を行ってください。
- ・ファイルの返却：記録メディアは原則として大会当日、返却します。（返却場所は受領確認メールにてお知らせします。）

(3) その他

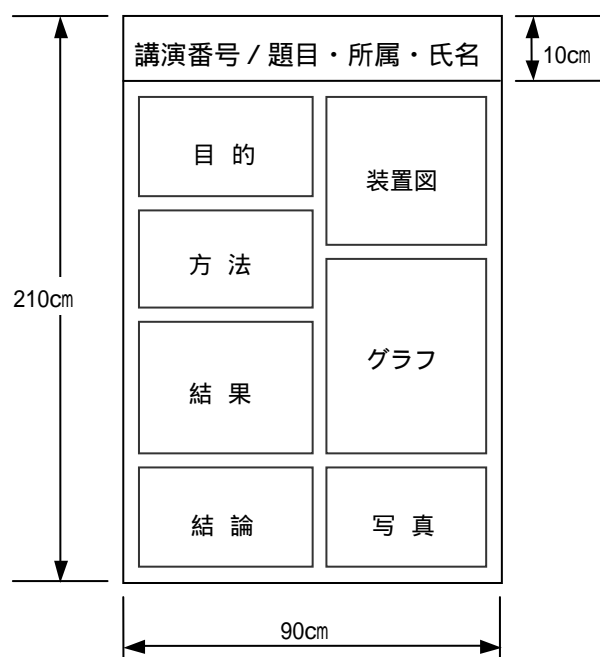
- ・当日のファイルやパソコン持ち込みによる液晶プロジェクター利用は、運営の支障になる可能性があるため、受け付けません。OHP をご利用ください。
- ・ppt ファイル送付後の変更も原則として受け付けません。もし、内容を変更したい場合には、OHP をご利用ください。
- ・予想外のトラブルのため、液晶プロジェクターでの講演が不能となった場合に備え、講演内容の OHP もご用意いただくことをお薦めいたします。

ポスター発表

ポスター発表は、2日に分けて行われます（ポスター1は1日目、ポスター2は2日目）。

また、優れたポスターに対して、優秀ポスター賞を設けています。審査はポスター会場を訪れた方からの投票で行います。2日目の懇親会において、発表および表彰を行いますので、力作を持ってご参加ください。

1. 発表者であっても参加申込み、参加費は必要です。
2. 論文1件あたりのポスター貼り付けスペースは、タテ 210 cm × ヨコ 90 cmとします。ただし、パネルの最上部タテ 10 cmには必ず、講演番号、題目、所属、氏名を印刷するか、または記入した用紙を貼ってください。ポスターを貼り付けるパネルの色は、薄い灰色です。（色の表現が適切でないかもしれませんので、あくまで参考としてください。）
3. ポスターの理解度を深めるために、実験サンプルやアルバムを持ち込むことは、かさばらなければ可とします。ただし、ビデオ、パソコン等電源を必要とするものは不可とします。また、商品宣伝の意図を強く出した内容のものも不可とします。
4. ポスターの貼付、発表及び撤収時間はそれぞれ以下のとおりです。
貼付：11月17日(水) 9:30 ~ 11:00
発表：ポスター1 - 11月17日(水) 11:30 ~ 13:00
ポスター2 - 11月18日(木) 11:00 ~ 12:30
撤収：11月18日(木) 17:00 ~ 19日(金) 11:00（できる限り19日の10時ごろまで掲示してください）
5. 発表者は、ポスター貼付前にポスター会場の受付に到着した旨を伝え、発表者リボン、貼り付け用ピンを受け取り、注意事項を聞いてください。
6. 図面やグラフなどをパネルに直接貼り付けても構いません。パネルへの貼り付けにはピン（会場受付にて配布）を使用してください。
7. 発表者は発表時間に、ポスターの前で説明を行ってください。
8. 撤収は必ず発表者の責任でお願いします。撤収時間を過ぎた場合には、会場スタッフがポスターを撤収・廃棄しますが、毎年多大な負担となっています。ご協力ください。



【ポスター作成例】

タイムスケジュール

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場
	サンポートホール高松							
	第1小ホール 4F (312人)	第2小ホール1 5F (330人)	第2小ホール2 5F (160人)	かがわ国際会議場 シンボルタワー6F (180人)	第1リハーサル室 7F (179人)	61会議室 6F (144人)	広域交流センター 5F (120人)	第3リハーサル室 7F (96人)
11月17日 (水)	受付 9:00-							
	9:30-11:30 D 4 埋立地安定化 (1)	9:30-11:30 A 3 住民意識	9:30-11:30 B 11 溶融スラグの 資源化	9:30-11:30 B 3 メタン発酵(1)	9:30-11:30 C 1 焼却技術/ 排ガス処理	9:30-11:30 E 3 土壌・ 地下水汚染	9:30-11:30 A 6 容器包装の リサイクル	9:30-11:30 E 1 PCB処理・分析
	11:30-13:00 ポスター発表(プログラム中に「ポスター1」と表記)、国際セッション(すべてポスター発表):展示場(1F)							
	13:30-14:15 平成15年度廃棄物学会賞 受賞者記念講演 論文賞 ・ 奨励賞	13:30-14:00 論文賞						
14:15-16:00 E 6 有害廃棄物処理 ・豊島	14:15-16:15 A 9 廃棄物管理 ・計画(2)	14:15-16:15 B 9 廃ガラス・ 建設廃棄物の 資源化	14:15-16:15 B 4 メタン発酵(2)	14:15-16:15 C 6 焼却灰安定化	14:15-16:15 D 1 埋立地浸出水	14:15-16:15 A 1 ごみ発生・性状	14:15-16:15 国際 シンポジウム	
16:30-18:00 年会委員会企画シンポジウム「豊島問題から何を学ぶか - 循環型社会づくりに向けて -」 :香川県県民ホール 本館2F グランドホール								
	18:30-20:30 若手の会		18:30-20:30 小集会 行政研究、 有害廃棄物 研究部会	18:30-20:30 小集会 廃棄物計画部会	18:30-20:30 試験検査法 研究部会	18:30-20:30 小集会 バイオマス系 廃棄物研究部会		
11月18日 (木)	9:00-11:00 B 2 生ごみ処理・ 生分解性 プラスチック	9:00-11:00 C 5 焼却灰性状 ・溶融	9:00-11:00 D 7 化学物質の溶出と 挙動/バイオモニタ リング	9:00-11:00 A 10 廃棄物管理 ・計画(3)	9:00-11:00 D 2 埋立地しゃ水 (1)	9:00-11:00 A 7 家電・自動車 のリサイクル	9:00-11:00 B 6 プラスチックの 資源化	9:00-11:00 E 4 有害性試験
	11:00-12:30 ポスター発表(プログラム中に「ポスター2」と表記):展示場(1F)							
	13:15-15:15 特別シンポジウム「廃棄物問題とどう取り組むか ~ 技術・経済・こころの視点から ~」:大ホール(3F)							
	15:30-17:45 B 10 焼却灰の資源化	15:30-17:45 C 4 ガス化溶融	15:30-17:45 B 5 コンポスト	15:30-17:45 A 11 処理施設計画	15:30-17:45 D 3 埋立地しゃ水 (2)	15:30-17:45 A 2 フロー解析/ 産業連関分析	15:30-17:45 B 1 汚泥等の資源化 ・処理	15:30-17:30 小集会 社会経済研究、 消費者市民研究 部会
18:30-20:30 懇親会:全日空ホテルクレメント高松(飛天の間)								
11月19日 (金)	9:00-10:45 C 3 ダイオキシン類等 のモニタリング ・分析	9:00-10:45 D 6 埋立地 モニタリング	9:00-10:45 E 2 ダイオキシン ・微生物分解	9:00-10:45 A 8 廃棄物管理 ・計画(1)	9:00-10:45 B 12 その他有機系 廃棄物の資源化 (1)	9:15-10:45 A 4 LCA/リサイクルシ ステム評価(1)	9:15-10:45 B 8 炭化処理	
	11:00-12:30 C 2 ダイオキシン類 生成・分解	11:00-12:30 D 5 埋立地安定化 (2)	11:00-12:30 E 5 有害廃棄物処理	11:00-12:30 A 12 リスク評価・ リスク管理	11:00-12:30 B 13 その他有機系 廃棄物の資源化 (2)	11:00-12:30 A 5 LCA/リサイクルシ ステム評価(2)	11:00-12:15 B 7 RDF・ガス化	
		13:30-15:30 小集会 埋立処分 研究部会				13:30-15:30 小集会 ごみ文化研究 部会	13:30-15:30 小集会 リサイクル システム技術 研究部会	

市民展示: 11月17日午後 - 11月19日午前 市民ギャラリー(1F)

見学会 :【Xコース】11月18日(木) 8:30 - 12:50、【Yコース】11月19日(金) 8:30 - 12:50、
【Zコース】11月19日(金) 13:00 - 17:20

セッションプログラム

(ホースター-1: 1日目発表、ホースター-2: 2日目発表、その他は口頭発表)

廃棄物学会賞受賞者記念講演(論文賞・奨励賞) 【11月17日(水) 第1会場 13:30-14:15】

- 『平成15年度廃棄物学会論文賞』利用形状に応じた拡散溶出試験による廃棄物溶融スラグの長期溶出量評価
秋田工業高等専門学校 肴倉宏史
- 『平成15年度廃棄物学会奨励賞』廃棄物焼却残渣及び飛灰等に含まれる有害有機物質及び重金属の挙動
京都大学 高岡昌輝 武田信生
- 『平成15年度廃棄物学会奨励賞』
難分解性有機ハロゲン化合物の焼却分解技術とダイオキシン類等の効率的測定・評価のための技術
横浜国立大学 加藤みか

廃棄物学会賞受賞者記念講演(論文賞) 【11月17日(水) 第2会場 13:30-14:00】

- 『平成15年度廃棄物学会論文賞』標語(幟)による散乱吸殻・散乱ごみ低減の社会実験
広島大学 早瀬光司
- 『平成15年度廃棄物学会論文賞』子どものごみ減量行動に及ぼす親の社会的影響
名古屋大学 依藤佳世

A1 ごみ発生・性状 【11月17日(水) 第7会場 14:15-16:15】

- ホースター-1 A 1-1 指標漂着物を用いた海岸漂着ゴミのモニタリング
鹿児島大学 藤枝 繁 JEAN・クリーンアップ全国事務局 小島あずさ 東京海洋大学 兼広春之
- ホースター-2 A 1-2 鳥取地域における海岸漂着ゴミとその排出源
鳥取大学 岡野多門、安東重樹、安本 幹
- A 1-3 東京都区部における道路清掃回収物の特性
国土交通省 茂木正晴 パシフィックコンサルタンツ(株) 下村由次郎、菅原政則
- ホースター-1 A 1-4 容器包装プラスチック区分の分別収集による大阪市のごみ質の変化予測
大阪市立環境科学研究所 酒井 護、山本 攻、鶴保謙四郎
- A 1-5 住宅解体系廃プラスチックの原単位調査および排出量推定
(社)プラスチック処理促進協会 加納芳明、山本圭作 塩ビ工業・環境協会 柳 良夫
- A 1-6 産業廃棄物の最終処分の現状と今後の課題について
環境省 松山豊樹、森本千尋、瀬川道信
- A 1-7 東北タイ農村におけるごみ処理の実態調査
青森大学 赤池慎吾
- A 1-8 世界の廃棄物発生量の推定と将来予測に関する研究
岡山大学 吉澤佐江子、田中 勝、Ashok V. Shekdar
- A 1-9 家庭での電気・電子製品およびガス・石油器具の購入・使用済み・再資源化フローの推計と考察
(有)環境資源システム総合研究所 小口正弘 横浜国立大学 亀屋隆志、浦野紘平
- A 1-10 資源化・適正処理を考慮したシュレッダーダストの物理化学特性分析
中田屋(株) 中嶋尚平 北海道大学 松藤敏彦、田中信壽
- A 1-11 家電製品等リサイクル法施行に伴う焼却灰中のカドミウム、鉛濃度変化の実態調査
(財)廃棄物研究財団 杉山吉男、清野昭則、南 亮太
- ホースター-2 A 1-12 家電製品の自治体大型ごみとしての排出実態とPbの流入について
京都大学 梅原秀之、浅利美鈴、高月 紘

A2 フロー解析/産業連関分析 【11月18日(木) 第6会場 15:30-17:45】

- A 2-1 レーザーアブレーションによる容器包装プラスチック中の重金属フロー分析
岡山大学 松原ひろみ (独)国立環境研究所 山田正人 岡山大学 小野芳朗
- ホースター-2 A 2-2 都市ごみ資源化施設における金属フローと溶出性の評価
北海道大学 鄭 昌煥、松藤敏彦、田中信壽
- A 2-3 調査誤差を考慮した使用済み製品等の全体フローの推計方法
(独)国立環境研究所 田崎智宏、大迫政浩、森口祐一
- A 2-4 自動車リサイクル産業連関表(ARIOT)の精緻化
中央大学 布施正暁、鹿島 茂
- A 2-5 屋久島における家庭への移入物量および移出物量に関する調査
環境資源システム総合研究所 浦野真弥 豊橋技術科学大学 後藤尚弘、藤江幸一
- A 2-6 中山間地域におけるバイオマス利活用による資源循環 - 福島県東白川郡鮫川村を事例として -
東京農業大学 佐貫安希子、入江満美、牛久保明邦

ホースター-1	A 2-7	都道府県レベルの資源生産性に関する一考察 (財)日本環境衛生センター 立尾浩一、大塚康治、植木祥治
ホースター-2	A 2-8	埼玉県における産業廃棄物データベースの構築 (独)国立環境研究所 川畑隆常、山田正人 (財)日本環境衛生センター 立尾浩一
	A 2-9	滋賀県における環境分析用産業連関表の作成 (財)滋賀県産業支援プラザ 吉田 徹、林 周 滋賀県立大学 仁連孝昭
	A 2-10	地域間廃棄物産業連関表の推計方法の検討 東京国際大学 筑井麻紀子
	A 2-11	国レベルのマテリアルフロー勘定の枠組に関する一考察：失われるストックの捉え方 (独)国立環境研究所 橋本征二 和歌山大学 谷川寛樹 (独)国立環境研究所 森口祐一
	A 2-12	日本における人間活動に伴う物質の蓄積量とそこからの廃棄物発生量の推計 京都大学 村瀬 透、松岡 譲、藤原健史
ホースター-1	A 2-13	日本からの主要な再生資源の輸出とアジアの循環構造 (独)国立環境研究所 寺園 淳 東京大学 吉田 綾 (独)国立環境研究所 森口祐一
ホースター-2	A 2-14	全世界におけるバイオマステーブルの構築 京都大学 藤森真一郎、河瀬玲奈、松岡 譲

A 3 住民意識 【 11月17日(水) 第2会場 9:30-11:30 】

ホースター-2	A 3-1	ビジネスホテルにおける宿泊客の環境に対する意識調査 京都大学 岩淵善美、村上裕子、笠原三紀夫
	A 3-2	PET ボトル拠点回収に対する要因分析 関西大学 尾崎 平、和田安彦、大島裕行
	A 3-3	コンジョイント分析による生ごみリサイクル方式の住民選好評価 財務省 寺山 健 北海道大学 古市 徹、谷川 昇
	A 3-4	生ごみ分別と有料化実施前でのアンケート調査を用いた住民意識の変化予測 北海道大学 古市 徹、谷川 昇、齊藤由起
	A 3-5	一定量無料従量制による家庭系可燃ごみの減量効果の影響要因分析 関西大学 和田安彦、尾崎 平、大島裕行
	A 3-6	ごみ焼却施設・埋立地に対する住民の意識及び態度に関する研究 北海道大学 松藤敏彦、田中信壽、Benno Rahadyan
ホースター-1	A 3-7	清掃工場の建築・景観デザインに関する研究 静岡県立大学 片山仁志、仁田義孝、横田 勇
ホースター-2	A 3-8	地域環境通貨(LEMS)の取引形態と技術的可能性に関する研究 早稲田大学 寄本勝美 (株)日本総合研究所 吉田賢一 早稲田大学 永井祐二
	A 3-9	地域環境通貨(LEMS)の環境指標としての可能性に関する研究 早稲田大学 寄本勝美 (株)日本総合研究所 吉田賢一 早稲田大学 永井祐二
	A 3-10	家庭系有害製品の廃棄行動・意識に関する市民アンケート調査 ~有害・危険ごみ~ 京都大学 浅利美鈴 (独)国立環境研究所 平井康宏 京都大学 高月 紘
ホースター-1	A 3-11	家庭系有害製品の廃棄行動・意識に関する市民アンケート調査 ~家電製品~ 京都大学 浅利美鈴 (独)国立環境研究所 平井康宏 京都大学 高月 紘
ホースター-2	A 3-12	岡山市における焼却残渣有効利用に関する市民意識調査 岡山大学 石坂 薫、田中 勝 (株)ウエスコ 宗村邦嗣
	A 3-13	最終処分場の受容とリスク認知に関する研究 岡山大学 石坂 薫、松井康弘、田中 勝

A 4 LCA/リサイクルシステム評価(1) 【 11月19日(金) 第6会場 9:15-10:45 】

	A 4-1	廃プラスチックを燃料利用するセメントクリンカの環境効用ポテンシャル評価 (株)イーエムエスアイ 浅岡 健 (社)セメント協会 玉重宇幹 太平洋セメント(株) 佐野 奨
ホースター-2	A 4-2	一般廃棄物中プラスチック類のリサイクル効率化の施策評価 北海道大学 土師賢之、古市 徹、稲葉陸太
	A 4-3	FRP 廃棄物のケミカルリサイクルのライフサイクル環境負荷評価：マネキンを事例としたケーススタディ 北九州市立大学 松本 享、左 健 (株)京屋 寺川博人
	A 4-4	分解性評価指数の開発 早稲田大学 永田勝也、納富 信、切川卓也
	A 4-5	樹脂めっき部品リサイクルの環境負荷評価 (独)産業技術総合研究所 大矢仁史、遠藤茂寿 出光テクノファイン(株) 大山 茂
	A 4-6	建設解体廃棄物処理の環境評価 鹿島建設(株) 間宮 尚、佐藤正章、新谷 彰

ポスター-1	A 4-7	異物の評価を含めた建物解体廃棄物の処理に伴う環境負荷の試算 東京理科大学 小林謙介 鹿島建設(株) 間宮 尚 東京理科大学 目澤理恵
ポスター-2	A 4-8	木くず処理の環境負荷評価における異物の影響 東京理科大学 目澤理恵 鹿島建設(株) 間宮 尚 東京理科大学 小林謙介
ポスター-1	A 4-9	津山市域における資源循環に関する研究 岡山大学 田中 勝、松井康弘、吉澤佐江子
ポスター-2	A 4-10	石川県北部における RDF 発電の LCA による評価 東京大学 山成素子、磐田朋子、島田荘平
	A 4-11	ASR を用いて得られるセメントの環境効用ポテンシャル評価 (株)イーエムエスアイ 浅岡 健 太平洋セメント(株) 今井敏夫、田熊靖久

A 5 LCA/リサイクルシステム評価(2) 【 11月19日(金) 第6会場 11:00-12:30 】

	A 5-1	千葉県における食品加工残さの地域発生分布の把握及び環境負荷量の推計 (独)産業技術総合研究所 志水章夫、楊 翠芬、玄地 裕
	A 5-2	バイオ資源・廃棄物の賦存量分布と厨芥類を対象とした燃料電池利用システムの LCA (独)国立環境研究所 平井康宏、酒井伸一 (株)アーシン 吉川克彦
ポスター-1	A 5-3	バイオエタノール混合燃料の E2-PA による環境負荷評価 早稲田大学 永田勝也、納富 信、河合浩利
	A 5-4	溶融飛灰からの重金属、塩類回収プロセスを中心とした一般廃棄物処理システムの LCA 京都大学 栗林佳史、大下和徹、高岡昌輝
	A 5-5	技術のライフサイクルアセスメント(LCA)に関する検討(廃棄物処理システムの評価) 早稲田大学 永田勝也、納富 信、風間祥吾
ポスター-2	A 5-6	医療廃棄物の廃棄物ライフサイクルアセスメント(WLCA)に関する研究 岡山大学 田中 勝、松井康弘、西村文香
ポスター-2	A 5-7	電子写真用トナーキャリアの熱水を利用した再生処理法の開発 名古屋大学 笹井 亮、斉藤 剛、伊藤秀章
ポスター-1	A 5-8	各種廃電池の処理優先度と処理プロセスの評価 名古屋大学 宮永 洋、笹井 亮、伊藤秀章
	A 5-9	鉛蓄電池リサイクルの経済分析 神戸大学 竹内憲司
	A 5-10	家計の消費・廃棄行動に起因する環境負荷の分析 静岡大学 高瀬浩二 早稲田大学 近藤康之、鷲津明由

A 6 容器包装のリサイクル 【 11月17日(水) 第7会場 9:30-11:30 】

ポスター-2	A 6-1	誘導加熱を用いた飲料缶乾留装置の開発 (株)アールニッセイ 福井 貢 富士電機システムズ(株) 只野英顕 富士電機アドバンステクノロジー(株) 武 達男
	A 6-2	宇部市におけるプラスチック製容器包装の収集・処理費用の解析 山口大学 樋口隆哉、田中健三郎、浮田正夫
	A 6-3	容器包装リサイクル法の施行による一般廃棄物処理量の変化とその要因について 立命館大学 天野耕二、曾和朋弘
	A 6-4	容器包装リサイクル法とごみ有料化の相乗効果分析 北星学園大学 碓井健寛
	A 6-5	スチール缶リサイクルにおける最新の状況 スチール缶リサイクル協会 酒巻弘三、小田 武 (株)ダイナックス都市環境研究所 山本耕平
	A 6-6	PET ボトルリサイクルシステムの現状とコスト調査解析 東京工業大学 鍵山 喬、青山 敦、仲 勇治
	A 6-7	容器に着目した弁当提供システムの環境負荷分析 ~京都大学桂キャンパスを例として~ 京都大学 河井紘輔、高月 紘、松井三郎
	A 6-8	容器包装リサイクルシステムのEPRの視点からのシナリオ分析 北海道大学 稲葉陸太、古市 徹、谷川 昇
	A 6-9	横浜市における飲料容器リサイクル政策の分析と評価 関東学院大学 安田八十五、李 松林

A 7 家電・自動車のリサイクル 【 11月18日(木) 第6会場 9:00-11:00 】

	A 7-1	LCA を用いた家電リサイクルに伴う環境影響改善効果の分析 (社)産業環境管理協会 中野勝行 (独)産業技術総合研究所 八木田浩史 (株)リサイクルワン 本田大作
	A 7-2	家電リサイクルのライフサイクル費用分析 早稲田大学 中村慎一郎、近藤康之

	A 7-3	家電リサイクルにおける静脈企業の再編 - 静脈産業外部委託型の形成基盤の考察 -	名古屋市立大学	羽田 裕
	A 7-4	日本・台湾における使用済み家電のリサイクルと EPR	九州大学	村上理映
	A 7-5	中国における自動車リサイクルの実態	東京大学	吉田 綾、荒巻俊也、花木啓祐
	A 7-6	自動車リサイクル法の検討 ~ EPR の視点から ~	京都大学	浅木洋祐
	A 7-7	自動車解体業における部品・素材の回収実態と全国推計 (独)国立環境研究所 田崎智宏、寺園 淳 (株)リサイクルワン		本田大作
ホスター 1	A 7-8	自動車の長寿命化を考えた使用体系に関する研究 - リユース部品の環境負荷の評価 -	早稲田大学	永田勝也、納富 信、佐藤広治
ホスター 2	A 7-9	乾溜法による自動車リサイクル技術	福岡大学	長田純夫 (株)A.P.R 竹田益夫
	A 7-10	廃車ガラプレス体の誘導加熱実験	福岡大学	長田純夫 (株)A.P.R 竹田益夫 (株)ヤマサキ 松尾辰也
ホスター 2	A 7-11	複合材料リサイクルの簡略化のための新規粉碎技術の研究 (独)産業技術総合研究所	古屋仲茂樹、遠藤茂寿、松田 聡	

A 8 廃棄物管理・計画(1) 【 11月19日(金) 第4会場 9:00-10:45 】

	A 8-1	明治前期における東京のごみ処理	(株)タクマ	稲村光郎
	A 8-2	家庭ごみのその場分別のパイロットプロジェクト (独)JICA インド事務所 酒井利文、上河與志夫、奥澤信二郎		
	A 8-3	遺伝的アルゴリズムを用いた都市ごみ収集作業員スケジューリング手法の開発	京都大学	保倉修一、内海秀樹、松井三郎
	A 8-4	一般廃棄物処理事業への民間活力導入に対する自治体の認識比較に関する報告 - 自治体を対象としたアンケート調査を通じて -	東洋大学	松尾友矩 (財)廃棄物研究財団 杉本一郎 東洋大学 齊藤 伸
ホスター 2	A 8-5	都市廃棄物統計の整合性とごみゼロコンセプト	帝京大学	渡辺浩平
	A 8-6	拡大生産者責任の根拠と費用負担のあり方	東洋大学	信澤由之
ホスター 1	A 8-7	「廃地下空間」を利用した新たな処分概念の可能性 (独)国立環境研究所 大迫政浩 飛鳥建設(株) 伊藤良治、中西哲夫		
	A 8-8	事業系ごみ指定袋のごみ減量効果	京都府立大学	山川 肇
	A 8-9	アンケート調査に基づく自治体搬入剪定枝の都市リサイクルシステムの構築	北海道大学	河村紀美子、古市 徹、石井一英

A 9 廃棄物管理・計画(2) 【 11月17日(水) 第2会場 14:15-16:15 】

	A 9-1	生ごみリサイクルシステム構築方法の提案 - バイオガス化を選択した場合の検討 -	鹿島建設(株) 宮野 寛	北海道大学 古市 徹、谷川 昇
ホスター 2	A 9-2	伊勢志摩地域における食品廃棄物の再生利用事業計画の構築	三重県科学技術振興センター	村上圭一、小阪幸子、原 正之
	A 9-3	ごみ広域処理の地区集約における組合せ最適化問題への GA 適用と改良	東京都立大学	荒井康裕、稲員とよの、小泉 明
	A 9-4	混合 IP モデルによるし尿・浄化槽汚泥の広域処理計画に関する一考察	東京都立大学	西出成臣、荒井康裕、小泉 明
ホスター 2	A 9-5	「自治体から地域企業に対する環境対応施策の現状と課題 ~ 廃棄物処理業界の ISO14001 取組み事例より」	京都大学	山本芳華、高月 紘、植田和弘
	A 9-6	北九州地区の既存産業インフラを活用した資源循環の現状と今後の課題について	北九州市	垣迫裕俊、入江隆司、柴田泰平
	A 9-7	ゼロ・エミッションを目指した北九州エコタウンにおける相互連携の取り組み	北九州市	垣迫裕俊、篠原弘志、玉井健司
	A 9-8	エコタウン事業の類型化検討	(株)九州テクノリサーチ 佐藤明史、卯城保浩	北九州市立大学 松永裕己
	A 9-9	焼却施設に係わる補助・表彰・評価事業、法令、行政等の歪みに関する研究	環境保全工学研究所	福本 勤

A 9-10 廃棄物政策への戦略的環境アセスメントの適用に関する研究
 大阪市立環境科学研究所 山本 攻 岡山大学 田中 勝、石坂 薫

A 1 0 廃棄物管理・計画(3) 【 11月18日(木) 第4会場 9:00-11:00 】

- A 10-1 ネットの輸送 - 循環型社会を分析する為の1つの指標の提案
 (独)国立環境研究所 藤井 実、橋本征二、森口祐一
- A 10-2 産業廃棄物処理受委託時における情報把握の実態について
 (社)全国産業廃棄物連合会 福田晃司、香川智紀 (独)国立環境研究所 貴田晶子
- A 10-3 需給バランスを考慮した畜産系廃棄物処理システムの検討
 東京大学 磐田朋子、島田荘平 (独)産業技術総合研究所 玄地 裕
- A 10-4 有害な廃棄物(PCB)の収集運搬システム構築に関する研究
 福岡大学 友田篤信、市川 新
- A 10-5 医療廃棄物不法投棄の未然防止対策と修復対策の提案
 北海道大学 伊藤拓生、古市 徹、谷川 昇
- A 10-6 建設副産物を対象とした電子マニフェストとGPSを統合した管理システムの特徴
 福岡大学 松田晋太郎、市川 新、福本茂朗
- A 10-7 GPS・GISの相互活用によるごみ排出量モニタリングに関する研究
 福岡大学 鈴木慎也、斉藤美穂、松藤康司
- ポスター1 A 10-8 GISによるごみ排出場所勢力圏特定システムの開発に関する研究
 福岡大学 斉藤美穂、鈴木慎也、松藤康司
- A 10-9 衛星リモートセンシングによる廃棄物不法投棄現場の検出手法に関する研究
 九州大学 小宮哲平、中山裕文、島岡隆行

A 1 1 処理施設計画 【 11月18日(木) 第4会場 15:30-17:45 】

- A 11-1 ごみ焼却処理方式選定に関する一考察 ~ 地域特性などを踏まえた最適な方式を選定するために~
 印西地区環境整備事業組合 高橋康夫 国際航業(株) 鍋島淑郎、加島 健
- A 11-2 最終処分場建設における第三者専門機関による住民合意支援について
 日本技術開発(株) 古庄香哉 福岡大学 樋口壯太郎 日本技術開発(株) 高橋富男
- ポスター2 A 11-3 市街地における清掃工場建設と地価変動について - 地価による清掃工場立地評価 -
 日本大学 橋本 治、三橋博巳
- A 11-4 「行政・住民との合意形成、意識改革をもたらしたクローズド型最終処分場」の1期処分場及び2期処分場の報告
 山形村 青沼永二 清水建設(株) 小宮山由起江
- A 11-5 一般廃棄物最終処分場の維持管理に関する一考察
 千葉県環境研究センター 伊藤康子、原 雄
- A 11-6 自治体ごみ減量化政策下でのごみ焼却施設の管理運営問題
 京都大学 芳賀普隆
- A 11-7 「エコサイクルセンター」設置の是非を問う住民投票までの経緯と今後の課題
 (株)ホーゲン 岡田朋子、水野克己 (独)国立環境研究所 遠藤和人
- A 11-8 ごみ処理用地・施設建築面積及び施工資材・機器数量算定に係る計画原単位
 (有)資源環境エンジニアリング 小指英雄
- A 11-9 産業廃棄物処理施設の立地特性に関する研究
 東京工業大学 土屋和也 (独)国立環境研究所 大迫政浩 東京工業大学 原科幸彦
- A 11-10 廃棄物最終処分場に対する住民の態度と距離の関係
 東京工業大学 秋山 貴 (独)国立環境研究所 大迫政浩 東京工業大学 原科幸彦

A 1 2 リスク評価・リスク管理 【 11月19日(金) 第4会場 11:00-12:30 】

- A 12-1 PCB 処理施設立地におけるリスクコミュニケーション
 北九州市 垣迫裕俊、入江隆司、宮脇幹仁
- A 12-2 廃棄物焼却施設の環境管理手法に関する研究 - 防護マスク用フィルターに捕捉されるダイオキシン類について -
 千葉県環境研究センター 半野勝正、依田彦太郎、原 雄
- A 12-3 ベーストリガ蒸気爆発に関する基礎的研究
 筑波大学 新井崇洋 三菱重工業(株) 柳沢良夫、佐藤健一郎
- A 12-4 廃棄物処理施設におけるリスク評価と安全対策
 早稲田大学 永田勝也、納富 信、田中 圭
- A 12-5 資源化・破碎処理における防災について その2 - リチウム電池による火災可能性と火災抑制 -
 (財)東京都環境整備公社 橋本 治、山寺昭夫、阿部 薫

- ホスター1 A 12-6 京都大学におけるクロロホルム、ジクロロメタンの大気揮散量の推定
京都大学 野村直史、水谷 聡、鈴木靖文
- A 12-7 環境リスクを考慮した適地選定手法に係る基礎的研究
(株)イーツーエンジニアリング 中石一弘 応用地質(株) 猪狩富士夫 前田建設工業(株) 林 克彦

B 1 汚泥等の資源化・処理 【 11月18日(木) 第7会場 15:30-17:45 】

- B 1-1 厨房での乾式洗浄工程の構築 - 基礎調査 -
富山県立大学 立田真文、林 泰之、加藤明久
- ホスター2 B 1-2 酸化鉄系資材を用いた処分場浸出水等の処理方法
三重県科学技術振興センター 高橋正昭、佐藤邦彦 石原産業(株) 佐々木謙一
- ホスター1 B 1-3 曝気・沈殿一体型 MAP リアクターの付随機能としての豚舎汚水中銅・亜鉛濃度の低減化およびこれら濃度と浮遊物質濃度との関係
(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 鈴木一好、田中康男、黒田和孝
- B 1-4 下水汚泥からのリン回収技術の開発(2)
三菱電機(株) 安永 望、神谷俊行、古川誠司
- B 1-5 亜臨界水処理を用いた余剰汚泥の資源化における加水分解プロセスの促進に関するアルカリ添加の影響
山口大学 今井 剛、荒金光弘、浮田正夫
- B 1-6 下水処理場余剰汚泥の熱分解特性
前橋工科大学 山本昌顯、五十嵐卓也、滝川哲夫
- B 1-7 中圧水蒸気を用いた下水汚泥の燃料化
東京工業大学 諸橋由昭、波岡知昭、吉川邦夫
- B 1-8 有機汚泥の焙煎処理による腐植化促進と高品質肥料化(第2報)
栗田工業(株) 松井謙介 島根大学 松本真悟
- ホスター2 B 1-9 下水汚泥コンポスト中の細菌相の解析
東京農業大学 黄 笑宇、大西章博、鈴木昌治
- B 1-10 ヒートショックを与えたグラニュール汚泥による水素発酵
名古屋大学 加藤貴之、佐野 彰、安田啓司
- B 1-11 スポンジ担体を用いた消化汚泥の高効率窒素除去
(株)荏原製作所 山本崇史、佐久間博司、石川康誠
- B 1-12 アスファルト混合物及びコンクリートへの無機汚泥の利用
岩手県工業技術センター 佐々木秀幸 岩手大学 藤原忠司、小山田哲也
- ホスター2 B 1-13 希薄重金属イオンの電解析出に関する基礎研究
関東学院大学 沼上浩久 JFE エンジニアリング(株) 中原啓介、宇田川悟

B 2 生ごみ処理・生分解性プラスチック 【 11月18日(木) 第1会場 9:00-11:00 】

- B 2-1 爆砕処理を用いた食品廃棄物の糖化
中央大学 今井嘉美、船造俊孝
- B 2-2 バイオマス廃棄物の湿式酸化による酢酸の生成
東北大学 周 舟宇、金 放鳴、榎本兵治
- B 2-3 生ごみバイオガス化施設からの臭気・排水・バイオガスの排出特性
北海道大学 西上耕平、古市 徹、谷川 昇
- B 2-4 静置型生ゴミ処理システムはなぜ優れているのか？
静岡大学 松田 智、天方将貴、伊東雅之
- B 2-5 生ごみ処理の初期過程における分解効率化に関する研究
筑波大学 上嶋大輔、木村俊範 松下電工(株) 井原 望
- ホスター1 B 2-6 木質系生ゴミ処理基材における pH 緩衝剤の導入効果
岩手大学 小藤田久義、菅原康之、前田武己
- B 2-7 生ごみからのポリ乳酸生産過程の物質収支と残渣の稲作用肥料としての利用
(株)エコアップ 中村仁計、森 正嗣 大分大学 酒井謙二
- ホスター2 B 2-8 固体培養同時糖化発酵法による汚泥からのL-乳酸生成
静岡大学 中崎清彦、鈴木奈美子
- B 2-9 コンポスト中における生分解性プラスチックの分解
山梨大学 森川 正、金子栄廣
- B 2-10 リモネンで減容した発泡スチロールの微生物分解
東北学院大学 及川栄作 オルガノ(株) 川端雅博 東北学院大学 石橋良信

B 3 メタン発酵(1) 【 11月17日(水) 第4会場 9:30-11:30 】

- B 3-1 北海道中北空知地域の生ごみバイオガス化施設の運転状況について
鹿島建設(株) 八村幸一 北海道大学 古市 徹、谷川 昇
- B 3-2 学校給食ごみのメタン発酵実証試験
日野市 池上典子 富士電機システムズ(株) 藤本智生、平野一澄
- B 3-3 厨芥単独処理の高温・高固形物濃度メタン発酵の運転条件に関する検討
(株)クボタ 石原和真 北海道大学 東條安匡、田中信壽
- B 3-4 横須賀市における生ごみの資源化に関する研究(第2報)
横須賀市 浅野 悟 住友重機械工業(株) 梁瀬克介、三井昌文
- B 3-5 有機性廃棄物の高温メタン発酵システムの運転評価
富士電機アドバンステクノロジー(株) 中原浩介、小松 正 富士電機システムズ(株) 石川冬比古
- ホスタ-1 B 3-6 有機性廃棄物メタン発酵における菌の死滅速度と温度の関係
富士電機アドバンステクノロジー(株) 人見美也子、小松 正 富士電機システムズ(株) 石川冬比古
- B 3-7 高速小型メタン発酵システムの開発
富士電機アドバンステクノロジー(株) 田岸未来子、横山尚伸 富士電機システムズ(株) 平野一澄
- B 3-8 高温メタン発酵による食品廃棄物のバイオガス化
三重県科学技術振興センター 男成妥夫、吉岡 理
- B 3-9 油脂メタン発酵処理における無希釈処理の影響
アタカ工業(株) 八巻昌宏、水野 修、奥野芳男

B 4 メタン発酵(2) 【 11月17日(水) 第4会場 14:15-16:15 】

- B 4-1 乳牛ふん尿および乳牛ふん尿と野菜屑との混合メタン発酵
清水建設(株) 渋谷勝利、児島敏一
- B 4-2 乳牛ふん尿メタン発酵消化液の牧草地への適正施用
東京農業大学 村田 純、入江満美、牛久保明邦
- B 4-3 余剰汚泥の垂臨界水処理液を用いた高速・高消化率メタン発酵
大阪府立大学 吉田弘之、徳本勇人、西口恭子
- ホスタ-2 B 4-4 モデル汚泥として大腸菌を用いた高速・高消化率メタン発酵
大阪府立大学 吉田弘之、徳本勇人、石井 亮
- ホスタ-2 B 4-5 固定化担体を用いた高効率メタン発酵
大阪府立大学 吉田弘之、徳本勇人、西口恭子
- ホスタ-1 B 4-6 コーヒー抽出残渣のメタン発酵処理
日本工業大学 佐藤茂夫、鈴木健士郎 高砂香料工業(株) 庭野 満
- ホスタ-2 B 4-7 ビール発酵残渣の高温高压水による可溶性+メタン発酵技術の開発
静岡大学 岡島いづみ、佐古 猛 サッポロビール(株) 三谷 優
- B 4-8 食品系廃棄物を用いたマイクロフローの水素発酵
(株)西原環境テクノロジー 松本寿美、竹本 裕、大下信子
- B 4-9 水素発酵に及ぼす pH 及び固形物濃度の影響
(株)タクマ 和田克士 東北大学 李 玉友、野池達也
- B 4-10 セルロース系廃棄物の水素・メタン二段発酵に関する研究
(株)荏原製作所 片岡直明、菖蒲昌平、宮 晶子
- B 4-11 リグニン分解能を有する好熱性嫌気性細菌の探索
岐阜大学 伊賀佳美、高見澤一裕
- B 4-12 触媒を用いた水熱ガス化技術のパーム油廃液のガス化への適用検討
大阪ガス(株) 松本信行、田所克章、東 隆行

B 5 コンポスト 【 11月18日(木) 第3会場 15:30-17:45 】

- B 5-1 家畜ふんの堆積型堆肥化過程からの環境負荷ガス発生
(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 長田 隆、福本泰之、道宗直昭
- B 5-2 甲賀市における一般廃棄物の広域堆肥化システムについて
龍谷大学 竺 文彦、浅野昌弘 甲賀市 保井岩治
- B 5-3 生ごみ処理機用微生物剤の性能評価
山梨大学 望月 卓、金子栄廣
- ホスタ-1 B 5-4 コンポスト施用土壌からの塩分の溶脱
山梨大学 金子栄廣、安藤一輝
- B 5-5 有機性廃棄物の堆肥化に伴うアンモニアガスの発生に対する腐植酸資材の添加効果
静岡県畜産試験場 佐藤克昭、芹澤駿治 (有)けんこう農園 高井英道

	B 5-6	PCL 分解菌を接種したコンポスト化におけるアンモニア臭抑制効果	静岡大学	中崎清彦、酒井孝幸
	B 5-7	生石灰添加による pH 調整が家畜排せつ物の堆肥化に及ぼす影響	岩手大学	前田武己、榊 拓也
	B 5-8	小規模実験装置によるコンポスト化過程の垂直方向モニタリング	筑波大学	原野道生、Joko Nugroho、木村俊範
ホースター-2	B 5-9	有機性廃棄物を主原料とする堆肥抽出物質の変異原性	(独)国立環境研究所	西村和之、中島大介、大河内由美子
	B 5-10	攪拌粉碎処理した生ごみのコンポスト化過程における発酵特性と発酵初期における微生物相の解析	東京農業大学	大西章博、藤本尚志、鈴木昌治
	B 5-11	生ごみコンポストの腐熟度評価法としての発芽試験変法	埼玉県環境科学国際センター	長谷隆仁、小野雄策
ホースター-2	B 5-12	廃棄ミカンの好気発酵処理による酵母の増殖と植害の軽減化	大分大学	酒井謙二 (株)エコアップ 中村仁計 大分大学 岩見裕子

B 6 プラスチックの資源化 【 11月18日(木) 第7会場 9:00-11:00 】

	B 6-1	農業用廃プラスチックの油化(消石灰による中性化試験)	町田環境技術研究所	河内恭三 中外テクノス(株) 佐野良和、内村泰造
ホースター-1	B 6-2	PET 混入一般プラスチックゴミの油化(消石灰による分解油の中性化技術の解説)	町田環境技術研究所	河内恭三
ホースター-2	B 6-3	廃タイヤ焼却飛灰との混合、焼成によるポリ塩化ビニルの脱塩素処理	名古屋市工業研究所	山口浩一、木下武彦、秋田重人
ホースター-1	B 6-4	家電製品用ポリスチレンのケミカルリサイクル	(株)テルム	早田輝信 (株)東芝 菅野善衛、上山大治郎
ホースター-2	B 6-5	常圧溶解法による FRP リサイクル技術の実用化開発(第2報)	日立化成工業(株)	柴田勝司、前川一誠、北嶋正人
	B 6-6	マイクロ波による塩化ビニルの脱塩素の研究()	千葉大学	森脇三郎、町田 基、立本英機
	B 6-7	塩ビ壁紙廃材からの活性炭製造技術の開発	呉羽環境(株)	福田弘之、吉賀俊一郎、山崎 彰
	B 6-8	廃プラスチックの接触分解による石油化学原料化プロセスの開発(第3報)	石川島播磨重工業(株)	西野順也、伊東正皓、藤吉裕信
	B 6-9	廃プラスチックのフィードストックリサイクル	札幌プラスチックリサイクル(株)	若井慶治 (株)ジャパンエナジー 白鳥伸之 歴世礦油(株) 阿部哲雄
	B 6-10	廃粉体塗料を用いた保水性成形体の製造に関する研究	日本工業大学	兼子正生 (株)京崎工業 半澤 学、遊馬靖美
ホースター-1	B 6-11	廃プラスチック類及びシュレッダーダスト中の重金属類分析 - 化学分析とエネルギー分散型蛍光 X 線装置の比較 -	(独)国立環境研究所	貴田晶子、宇智田奈津代、酒井伸一
	B 6-12	超臨界メタノールによる PET モノマー化速度及び反応機構に関する考察	熊本大学	後藤元信、佐々木満、岩谷智子
	B 6-13	廃棄発泡スチロール分解油のディーゼルエンジンへの適用	立命館大学	大村俊輔、孔 俊徳、吉原福全

B 7 RDF・ガス化 【 11月19日(金) 第7会場 11:00-12:15 】

ホースター-2	B 7-1	RDF の物性・組成および熱分析結果	富士電機アドバンステクノロジー(株)	佐渡直彦、永友寿美、佐々木康成
ホースター-2	B 7-2	RDF の発酵実験結果	富士電機アドバンステクノロジー(株)	佐々木達見子、人見美也子、佐々木康成
	B 7-3	RDF 発熱特性に与える堆積量と粉化の度合いの影響調査	富士電機アドバンステクノロジー(株)	富内芳昌、岩本卓治、佐々木康成
ホースター-1	B 7-4	RDF の自然発火性試験結果および熱分解特性	富士電機アドバンステクノロジー(株)	松山秀昭、中田栄寿、佐々木康成
ホースター-2	B 7-5	ごみ固形燃料の発熱・発火事象の解明に関する実験的研究(1) 水分の測定法と発熱に及ぼす水分の役割	(独)国立環境研究所	安原昭夫、松永充史、酒井伸一
ホースター-1	B 7-6	RDF 保管における蓄熱に関する研究() - 高温 RDF の赤外線カメラによる熱分布特性について -	(株)中外テクノス	川口晃司 環境計画センター 福益正恵、鍵谷 司
	B 7-7	RDF 保管時における蓄熱に関する研究() - 断熱容器内における高温 RDF の蓄熱特性について -	(株)中外テクノス	川口晃司 環境計画センター 福益正恵、鍵谷 司

	B 7-8	熱分解ガス化 - 改質による廃木材からの水素製造に関する基礎研究 (独)国立環境研究所	呉 畏、倉持秀敏、川本克也
ホースター-2	B 7-9	PyGC/MS による RDF の熱分解・燃焼生成物の測定 (独)国立環境研究所	橋本俊次、安原昭夫、酒井伸一
ホースター-2	B 7-10	超小型バイオマスガス化発電装置の研究開発 (株)マイクロ・エナジー	橋本芳郎、松岡一博 東京工業大学 吉川邦夫
	B 7-11	木質系バイオマスの間接加熱式ガス化システムの開発 三重中央開発(株)	町田勝己 三菱重工業(株) 本多裕姫、関野宏司
	B 7-12	内部循環流動床ガス化炉におけるタール及び塩素の乾式除去技術の開発 (株)荏原製作所	両角文明、岩楯由貴 早稲田大学 松方正彦
ホースター-1	B 7-13	バイオマス熱分解ガス化における燃料電池被毒物質の生成挙動と原料組成の関係 (独)国立環境研究所	倉持秀敏、呉 畏、川本克也

B 8 炭化処理 【 11月19日(金) 第7会場 9:15-10:45 】

	B 8-1	有機性資源の炭化による新資材化技術の開発(第4報) - パイロット炭化装置による実証試験及び、 自燃炭化技術の開発 - (株)東芝	安村恵二郎、林 幸司 (独)農業工学研究所 凌 祥之
ホースター-2	B 8-2	建築廃材由来炭化物の有効利用に関する検討 三重県科学技術振興センター	佐藤邦彦、円城寺英夫、高橋正昭
ホースター-1	B 8-3	都市ごみ炭化物中塩素の水溶性に関する研究 北海道大学	黄 仁姫、松藤敏彦、田中信壽
	B 8-4	炭化処理による産業廃棄物の資源化と埋立て前処理の可能性 三菱重工業(株)	佐々木通充 北海道大学 松藤敏彦、田中信壽
ホースター-2	B 8-5	リサイクル木材炭を用いた調湿壁に関する研究 近畿大学	ピラクン・ヴォンフィット、中西亜貴夫、玉井元治
ホースター-2	B 8-6	鶏糞炭化物の吸着性評価 東京農工大学	藤城 圭、岡山隆之 東京都立産業技術研究所 島田勝廣
	B 8-7	古紙活性炭の調整と環境ホルモンの吸着 東京農工大学	松下清文、岡山隆之 東京都立産業技術研究所 島田勝廣
	B 8-8	農業集落排水処理および汚泥の炭化処理における環境負荷の算定 (独)農業工学研究所	東理 裕、凌 祥之 (独)産業技術総合研究所 田原聖隆
ホースター-1	B 8-9	モデル廃木材の炭化処理に伴う変異原性物質の生成挙動 (独)国立環境研究所	中島大介、後藤純雄、酒井伸一
	B 8-10	固形有機性産業廃棄物の炭化物の有効利用手法に関する研究 埼玉大学	遠藤浩志、王 青躍
	B 8-11	薬品賦活による新聞古紙活性炭の製造条件と細孔構造 東京農工大学	志賀みずき、岡山隆之 東京都立産業技術研究所 島田勝廣
ホースター-2	B 8-12	家畜ふんからのりん回収のための前処理と炭化処理に関する検討 宮崎大学	齋藤 誠、関戸知雄、土手 裕
ホースター-1	B 8-13	有機系廃棄物の処理における炭化の位置づけに関する考察 京都大学	内海秀樹

B 9 廃ガラス・建設廃棄物の資源化 【 11月17日(水) 第3会場 14:15-16:15 】

	B 9-1	蒸気中における無機接着剤を使用した廃棄ガラスの固化に関する研究 阿南工業高等専門学校	西岡 守、森崎紘平 四国建設(株) 久米和夫
ホースター-2	B 9-2	発泡廃ガラス材を用いた水域直接浄化システムの開発 日本建設技術(株)	田中健太 佐賀大学 荒木宏之 日本建設技術(株) 原 裕
ホースター-1	B 9-3	ゼオライト化した高機能性発泡廃ガラスの特性 日本建設技術(株)	安高 進、原 裕 佐賀大学 荒木宏之
	B 9-4	キレート剤を用いた湿式ボールミル法による鉛ガラスからの鉛の分離・回収 名古屋大学	久保尚司、笹井 亮、伊藤秀章
	B 9-5	廃コンクリート及びセメントからの重金属類の溶出挙動 (独)国立環境研究所	貴田晶子、遠藤和人、酒井伸一
ホースター-2	B 9-6	コンクリートからの重金属溶出における溶出評価 広島大学	河合研至、松村健司、田野彰一
	B 9-7	高流動モルタルを上方注入した再生骨材先詰めコンクリートに関する研究 東京理科大学	林 俊斉、澤本武博、辻 正哲
ホースター-1	B 9-8	廃木材中の有害金属等の分布 埼玉県環境科学国際センター	渡辺洋一、小野雄策 東京農工大学 細見正明

ホスター-2	B 9-9	廃木材の敷料利用及び CALUX アッセイを用いたバイオモニタリング手法の開発 京都大学 浅利美鈴 (独)国立環境研究所 酒井伸一 京都大学 高月 紘
	B 9-10	家屋解体工事における CCA 処理木材の判別・分別方法の提案 北海道立林産試験場 清野新一、東 智則、山崎亨史
	B 9-11	建設発生木材のリサイクルにおける安全性管理手法に関する研究 - 再資源化用チップに含まれる有機系防腐剤の定量 -
	B 9-12	脱水・固化処理による湖沼浚渫土のリサイクルに関する検討 神奈川県環境科学センター 坂本広美、斎藤邦彦、吉野秀吉 (株)鴻池組
	B 9-13	廃建材を用いた燃料用エタノール製造技術の開発 月島機械(株) 鈴木健治、早川智基、奥田直之

B 1 0 焼却灰の資源化 【 11月18日(木) 第1会場 15:30-17:45 】

ホスター-1	B 10-1	下水汚泥焼却灰からのリン酸塩回収方法 三重県科学技術振興センター 高橋正昭、佐藤邦彦 JFE エンジニアリング(株) 中原啓介
	B 10-2	下水汚泥焼却灰からの水熱処理によるりん酸塩回収方法 三重県科学技術振興センター 佐藤邦彦、男成妥夫、高橋正昭
ホスター-2	B 10-3	りん酸源を添加した下水汚泥焼却灰の肥料化検討 三機工業(株) 小松貴司、岩井良博、定塚徹治
	B 10-4	石炭灰のアスファルトフィラー材としての利用について 秋田県工業技術センター 遠田幸生 東北電力(株) 成澤謙伸
ホスター-1	B 10-5	石炭灰の有効利用に関する安全性向上技術の開発 - 石炭灰の酸洗浄処理によるほう素除去と回収システムの実証実験 - (株)大林組 佐藤祐司、井出一貴、久保 博
	B 10-6	バイオブリケット燃焼灰の再利用システムに関する評価研究 埼玉大学 滝沢泰治、王 青躍、大谷海里
	B 10-7	ダストの時間差リサイクル法 島根大学 片山裕之、北村寿宏 東北大学 中村 崇
	B 10-8	水熱ホットプレス法によるフライアッシュ/高炉スラグの固化に関する研究 阿南工業高等専門学校 西岡 守、西川裕貴
	B 10-9	造粒焼成技術を用いた焼却灰リサイクルシステムの開発 五洋建設(株) 荒井正英、江口信也、中村州一
ホスター-2	B 10-10	焼却灰を原料に用いたレンガの製造時における含有成分の挙動 福岡県保健環境研究所 高橋浩司、土田大輔、宇都宮彬
	B 10-11	都市ごみガス化溶融炉飛灰の重金属浸出特性 東北大学 吉岡敏明、溝口忠昭、齋藤千愛
ホスター-1	B 10-12	溶融飛灰からの金属回収に関する研究 - 化学的金属回収法の評価・比較 北海道大学 岡田敬志、東條安匡、田中信壽
	B 10-13	焙焼灰再資源化用途の開発 三重大学 中川武志 三菱重工業(株) 仙波範明、星 信行
ホスター-2	B 10-14	焼成処理における都市ごみ焼却灰中重金属の挙動 - . 粒径別キャラクタリゼーションと焼成効果 -
	B 10-15	焼成処理における都市ごみ焼却灰中重金属の挙動 - . 焼成温度・時間・雰囲気の影響 - 京都大学 櫻井あや、高岡昌輝、武田信生 京都大学 櫻井あや、高岡昌輝、武田信生

B 1 1 溶融スラグの資源化 【 11月17日(水) 第3会場 9:30-11:30 】

	B 11-1	都市廃棄物溶融スラグへの担持鉄()酸化物による廃水中ヒ素の除去 名古屋大学 張 付申、伊藤秀章
ホスター-1	B 11-2	溶融パウダーの流動化処理材への適用性に関する基礎実験と長距離圧送試験 ハザマ 木村 誠、佐々木肇、三反畑勇
ホスター-2	B 11-3	骨材全量を溶融物に置換したコンクリート二次製品の試作 ハザマ 佐々木肇
	B 11-4	溶融スラグ細骨材を用いた高性能 AE 減水剤コンクリートによる実大構造物の施工 ものづくり大学 大塚秀三、中田善久 新日本製鐵(株) 伊能泰夫
ホスター-2	B 11-5	ごみ溶融スラグを細骨材に用いたコンクリートの調合に関する研究 (株)内山アドバンス 齊藤丈士 川崎重工業(株) 菅田雅裕、谷山教幸
	B 11-6	ごみ焼却灰溶融スラグを細骨材に用いたコンクリートの実大施工実験 - コンクリートの耐凍害性および施工後1年を経過した構造体コンクリートの品質 - 川崎重工業(株) 谷山教幸 (株)内山アドバンス 齊藤丈士 ものづくり大学 中田善久

- B 11-7 溶融スラグを利用した路盤材の供用性について
 (株)タクマ 吉井隆裕 大阪市 蓑田哲生 大阪市立大学 山田 優
- B 11-8 一般廃棄物溶融スラグを用いた地下空洞充填材の環境安全性
 飛鳥建設(株) 伊藤良治、中西哲夫 (独)国立環境研究所 大迫政浩
- B 11-9 一般廃棄物溶融スラグの材料特性と地盤材料への適用に関する研究
 福岡大学 佐藤研一 日立金属(株) 長田伸一、田上敏郎
- B 11-10 廃棄物溶融スラグ微粉末の資源化
 崇城大学 上杉真平 熊本硅砂鋳業 別府 勝 熊本県工業技術センター 永田正典
- B 11-11 水冷スラグの品質管理にあたってのロットの大きさ
 千葉県環境研究センター 原 雄 東金市外三町清掃組合 石田晃一、越川隆博

B 1 2 その他有機系廃棄物の資源化(1) 【 11月19日(金) 第5会場 9:00-10:45 】

- B 12-1 ホタテガイ廃棄組織の再資源化を目指した微生物バイオプロセスの開発
 函館工業高等専門学校 小原寿幸 日本化学飼料(株) 梅原泰男、穂苅勝利
- B 12-2 イカ加工残さの有効利用技術の開発
 北海道立工業試験場 若杉郷臣、長野伸泰、作田庸一
- B 12-3 水産加工廃棄物ハイドロキシアパタイトの水中重金属除去特性
 名古屋工業大学 小澤正邦、金原聖司
- ポスター-1 B 12-4 食品廃棄物である卵殻膜を用いた染料排水の脱色
 東京工業高等専門学校 宮崎誉教、庄司 良 ロボットメーション(株) 加藤幹夫
- B 12-5 焼酎蒸留粕から作製した資材の肥料効果と発生した糸状菌の影響に関する研究
 宮崎大学 安井賢太郎、増田純雄 鹿児島工業高等専門学校 山内正仁
- B 12-6 亜臨界水処理による廃食用油の再資源化
 大阪府立大学 吉田弘之、鎌田敏裕
- ポスター-2 B 12-7 製糖時廃棄物(ライムケーキ)を利用した有機酸塩凍結防止剤の評価
 北海道苫小牧地方環境監視センター 山口高志 北海道大学 春木雅寛
- B 12-8 炭化 PS ゼオライトを用いた製紙排水処理剤の調製
 千葉科学大学 安藤生大、坂本尚史 静岡県富士工業技術センター 日吉公男
- ポスター-1 B 12-9 昆虫工場廃棄物選別装置の改良 - ユニット組立式 -
 (独)農業生物資源研究所 羽賀篤信、Zbigniew Draczyński
- ポスター-2 B 12-10 微生物を用いたブナののこ屑およびクルミの殻からのキシリトール生産
 岐阜大学 余語正徳、高見澤一裕
- B 12-11 フッ素イオン吸 - 脱着能を有する回収材の開発 - 廃棄物の抑制・適正処理の推進 -
 秋田県環境センタ - 成田修司 秋田県工業技術センター 遠田幸生 秋田大学 菅原勝康

B 1 3 その他有機系廃棄物の資源化(2) 【 11月19日(金) 第5会場 11:00-12:30 】

- B 13-1 使用済み紙おむつの再利用及び再資源化システムに関する研究(5)
 福岡大学 木下博貴、松藤康司、柳瀬龍二
- ポスター-1 B 13-2 有機循環資源のバックアップシステムとしての環境調和型覆土助材化
 (株)井上政商店 橋 隆一 福岡大学 田中綾子、松藤康司
- ポスター-2 B 13-3 有機性廃棄物の組成データに基づいた資源量評価に関する研究
 (独)国立環境研究所 大河内由美子 (株)コシダテック 鹿子田千津 (独)国立環境研究所 井上雄三
- ポスター-2 B 13-4 家畜農家におけるふん尿排出方法と敷料を含めたフロー調査
 宮崎大学 福永宗介、関戸知雄、土手 裕
- B 13-5 富山県内におけるエネルギー変換可能な既存バイオマス及びプランテーションバイオマス量の推算
 (株)富山環境整備 江尻容子、松浦英樹 富山県立大学 立田真文
- B 13-6 紙の資源循環に適した原料樹木の選抜に関する研究
 九州大学 小名俊博 Chinju National University Seung-Lak Yoon 北海道大学 小島康夫
- B 13-7 高含水有機系廃棄物の熱化学的ガス化プロセスに関する基礎的研究
 松下電器産業(株) 尾崎 仁、田中正昭 岐阜大学 守富 寛
- B 13-8 畜産系バイオマス熱分解ガス化改質システムの研究開発
 (株)プランテック 鳴海良成 東京工業大学 吉川邦夫 (株)エコミート・ソリューションズ 松原弘直
- B 13-9 バイオマスからのクリーンエネルギー回収型エタノール発酵システムの開発 ~ 食品廃棄物の固体エタノール発酵技術の開発 ~
 東京農業大学 本多宏明、鈴木昌治、牧 恒雄
- ポスター-1 B 13-10 模擬有機性廃棄物を用いた長期連続水素発酵および最適 HRT の検討
 東北大学 河野孝志、李 玉友 (株)タクマ 宍田健一

C 1 焼却技術/排ガス処理 【 11月17日(水) 第5会場 9:30-11:30 】

- C 1-1 次世代型ストーカ式焼却炉の実炉試験結果
JFE エンジニアリング(株) 西野雅明、立福輝生、山本 浩
- C 1-2 排ガス再循環による低空気比燃焼試験報告(中間流焼却炉での適用事例)
川崎重工業(株) 片畑 正、金岡秀幸、葉 成洋
- ポスター2 C 1-3 廃棄物処理への二段燃焼技術の適用
石川島播磨重工業(株) 上野俊一郎、松澤克明、三村正文
- C 1-4 実証機と実機による酸素富化と排ガス再循環試験
石川島播磨重工業(株) 松澤克明、若松秀樹、三村正文
- C 1-5 水冷式ストーカシステムの実機導入事例
三機工業(株) 宮田治男、鈴木厚志、河合宏延
- C 1-6 赤外線カメラで計測したごみ層表面温度分布に基づく高度燃焼制御
三菱重工業(株) 高津戸康弘、田熊昌夫、倉西 実
- ポスター1 C 1-7 廃棄物焼却炉用クリンカー付着防止構造の実用化
三菱重工業(株) 石山卓弘、川原雄三 三菱重工環境エンジニアリング(株) 西村 宏
- ポスター2 C 1-8 汚泥焼却炉における N₂O 低減のための高度燃焼制御
三菱重工業(株) 安部正孝、松寺直樹、本多裕姫
- ポスター2 C 1-9 プラスチック中有機塩素・臭素化合物の熱分解・燃焼時の挙動に関する研究
京都大学 柿沼公二、渡辺信久、高月 紘
- C 1-10 ガス中水銀濃度の現状と除去システムの検討
日立プラント建設(株) 大橋直之、平野 貢、川畑進一
- ポスター1 C 1-11 環境保全繊維フィルターろ材の耐酸性に関する基礎的検討
金沢大学 Winyu Tanthapanichakoon、畑 光彦 石川工業高等専門学校 金岡千嘉男
- C 1-12 ナトリウム系薬剤を用いた新乾式排ガス処理システムの実機運転性能
(株)タクマ 倉田昌明、前田典生
- C 1-13 廃棄物熱処理排ガス中の重金属類の挙動と成分分離の可能性
金沢大学 三國徳慶、坂野健夫、Kanchanapiya Premrudee
- ポスター2 C 1-14 焼却施設排ガスにおける重金属の濃度と挙動に関する調査
大阪市立環境科学研究所 西谷隆司、酒井 護、高倉晃人

C 2 ダイオキシン類生成・分解 【 11月19日(金) 第1会場 11:00-12:30 】

- C 2-1 有機物のガス化・分解挙動とダイオキシン類生成濃度との関係
大阪大学 川端弘俊、長谷川竜也、碓井建夫
- C 2-2 燃焼炉出口直後の高温部分でのダイオキシン分解
(独)産業技術総合研究所 竹内正雄、畑中健志、北島暁雄
- C 2-3 各種焼却飛灰のカーボン特性と DXN 加熱処理特性
北海道大学 角田芳忠、松藤敏彦 (株)タクマ 増田孝弘
- ポスター1 C 2-4 ダイオキシン類の生成に与える炭素の化学構造の影響
京都大学 武田信生、高岡昌輝 JFE エンジニアリング(株) 西村宏平
- ポスター2 C 2-5 燃焼とダイオキシン類生成に及ぼす塩化銅の影響
(独)産業技術総合研究所 畑中健志、北島暁雄、竹内正雄
- C 2-6 飛灰における銅の化学形態がダイオキシン類の再合成に及ぼす影響
京都大学 高岡昌輝 川崎重工業(株) 塩野敦弘 京都大学 武田信生
- C 2-7 医療廃棄物焼却炉におけるダイオキシン類の二次生成抑制に関する研究
岡山大学 安田憲二、田中 勝
- C 2-8 電子ビームを利用したダイオキシン類の分解
日本原子力研究所 廣田耕一、小嶋拓治
- ポスター2 C 2-9 薬剤による飛灰中ダイオキシン類の分解
栗田工業(株) 藤吉直明、中馬高明、岩崎 守
- ポスター1 C 2-10 焼却施設解体工事における高圧洗浄水脱水ケーキの可搬式プラントによるダイオキシン類無害化
五洋建設(株) 久保井高史、西根秀平
- ポスター2 C 2-11 ダイオキシン類汚染土壌・底質の無害化
三井造船(株) 藤田理人、奥村泰一、板谷真積

C 3 ダイオキシン類等のモニタリング・分析 【 11月19日(金) 第1会場 9:00-10:45 】

- C 3-1 ごみ焼却炉における排ガス中ダイオキシン類の同族体及び異性体構成
菱日エンジニアリング(株) 小川 弘、須藤理枝子

- ホスター-1 C 3-2 都市ごみ焼却過程における PCNs の生成と異性体分布に関する検討
(独)国立環境研究所 黄 瑛、野馬幸生、酒井伸一
- C 3-3 レーザイオン化 TOFMS 法を適用した排気中 PCB モニタリングの計測精度検討
三菱重工(株) 吉良雅治、土橋晋作、田中隆一郎
- ホスター-2 C 3-4 ヘリウムプラズマ発光法を用いたガス中有機ハロゲン化合物の測定と応用
(独)国立環境研究所 川本克也、依田育子
- C 3-5 排ガス中ダイオキシン類管理への有機ハロゲン総括測定値の利用
(独)国立環境研究所 川本克也 三機工業(株) 宮田治男、安田宣夫
- ホスター-1 C 3-6 一般廃棄物焼却施設排ガス中の中・低揮発性有機ハロゲン化合物の経年変化
大阪市立環境科学研究所 高倉晃人、鶴保謙四郎 京都大学 渡辺信久
- C 3-7 ごみ焼却処理施設の有機ハロゲン - de novo 合成モニタリングからの考察
京都大学 渡辺信久 大阪市立環境科学研究所 高倉晃人 (株)日立製作所 南吉 隆
- C 3-8 SNVOxS 測定による飛灰中ダイオキシン類の効率的な汚染判定方法の提案
横浜国立大学 三宅祐一、加藤みか、浦野紘平
- C 3-9 ごみ処理施設の建替えによるダイオキシン類排出削減効果と周辺環境の調査(第3報)
(株)タクマ 藤田泰行 置賜広域行政事務組合 土屋武好 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- ホスター-2 C 3-10 飛灰含有試料中のダイオキシン類を迅速測定する際に凍結乾燥を用いて抽出効率を向上させる手法の開発
(株)荏原製作所 剣持由起夫、堤かおり
- ホスター-2 C 3-11 グラファイトカーボン粉末による水試料からのダイオキシン類の抽出
(株)カネカテクノリサーチ 波戸義雄 大阪ガス(株) 松井久次 (株)カネカテクノリサーチ 早川健一
- ホスター-1 C 3-12 高分解能 GC/MS によるダイオキシン類簡易分析法の検討
(株)神鋼環境ソリューション 佐藤栄祐、刈谷英明
- C 3-13 イムノアッセイ法によるダイオキシン類簡易分析測定技術
(財)関西環境管理技術センター 村下淳子、樋口一郎、武甕孝雄
- ホスター-2 C 3-14 廃棄物試料中のポリ塩化ナフタレンの異性体分析
(独)国立環境研究所 山本貴士、野馬幸生、酒井伸一
- ホスター-1 C 3-15 促進酸化処理におけるリアルタイムモニタリング技術の開発
倉敷紡績(株) 田中忠玄、塩見元信、荒木正吾

C 4 ガス化溶融 【 11月18日(木) 第2会場 15:30-17:45 】

- C 4-1 八女西部クリーンセンターの4年間運転実績
三井造船(株) 竹内和則、山本 誠、杉本富男
- C 4-2 間接加熱式キルン炉を用いた埋立ごみ有害物質の無害化と資源化実証試験
(財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭 (株)タクマ 中江 穰、吉本 聡
- C 4-3 直接溶融炉におけるガス羽口吹込み技術の開発
新日本製鐵(株) 西 猛、加藤也寸彦、芝池秀治
- C 4-4 旋回流型流動床ガス化溶融システムによるダイオキシン類総排出量の低減
(株)荏原製作所 石川龍一、石川清貴、川畑順一郎
- ホスター-2 C 4-5 ガス化溶融方式廃棄物処理施設の運転状況調査と評価
(独)国立環境研究所 川本克也 日本技術開発(株) 安納剛志、森 孝信
- C 4-6 自動車シュレッダーダストの直接溶融技術
トヨタ自動車(株) 小島直純 アイシン高丘(株) 山田裕市 名古屋大学 藤澤敏治
- C 4-7 シャフト炉式ガス化溶融炉による自動車破碎残渣(ASR)の処理と臭素化難燃剤およびダイオキシン類縁化合物の挙動
(独)国立環境研究所 高橋 真、酒井伸一 新日本製鐵(株) 長田守弘
- C 4-8 熱分解ガス化改質システムによるカーシュレッダーダストリサイクルのフィールドテスト
(株)東芝 野間 毅、雨宮 隆、井手勝記
- C 4-9 炭化物残渣ガス化のための水蒸気プラズマの観察
大阪大学 伊部匡晃、西川 宏、田中 学
- C 4-10 廃棄物のガス化・改質プロセスにおけるガス化改質特性
新興プランテック(株) 原 勉 東京工業大学 吉川邦夫 (株)エコミート・ソリューションズ 松原弘直
- ホスター-2 C 4-11 分散型廃棄物ガス化発電技術の可燃性一般廃棄物と畜産系バイオマス混合廃棄物への適用
(株)エコミート・ソリューションズ 松原弘直、野村 博 東京工業大学 吉川邦夫

C 5 焼却灰性状・溶融 【 11月18日(木) 第2会場 9:00-11:00 】

- C 5-1 廃棄物焼却飛灰中クロム化合物の賦存形態推定
東北大学 二上隆志、葛西栄輝、中村 崇
- C 5-2 灰溶融炉における廃プラスチック混焼による重金属揮散促進効果
住友重機械工業(株) 河上 勇、玉井良孝(株) 住重環境分析センター 黒豆伸一

	C 5-3	廃プラスチックを利用した焼却残渣溶融技術の実証調査～ケミカルリサイクル効果の確認～ 京都大学 武田信生、高岡昌輝 (株)アーシン 出口晋吾
	C 5-4	焼却残渣溶融における廃プラスチックのケミカルリサイクル効果の実証調査 (株)クボタ 佐藤 淳、釜田陽介、 立道隆幸
	C 5-5	プラズマ式灰溶融炉における負荷追従式自動出力制御システムの開発と ACC との融合 佐賀市 梅崎正俊 (株)荏原製作所 合田泰之 荏原エンジニアリングサービス(株) 伊保橋邦男
	C 5-6	プラズマ灰溶融炉の炉内解析 三菱重工業(株) 野間 彰、馬渡匡之、保田静生
ホースター-1	C 5-7	廃プラスチックを利用した灰溶融技術 - 廃プラスチック利用灰溶融による灰中の重金属の挙動、および鉄分回収の検討 - 日立造船(株) 関口善利、百田 秀、 宇都宮毅
	C 5-8	焼却灰組成と溶融雰囲気の違いがスラグ品質に与える影響 長岡技術科学大学 櫛田浩司、姫野修司、藤田昌一
ホースター-2	C 5-9	点滴濾紙 - 蛍光 X 線分析法による焼却飛灰溶出液中の Ni、Cu、Zn、Pb の分析 明治大学 尾崎恭平、中野和彦、中村利廣
ホースター-1	C 5-10	逐次抽出法を用いた焼却主灰中の鉛の形態別定量 明治大学 益永康司、鈴木義文、中村利廣
ホースター-2	C 5-11	AI 化合物のスペシエーションによる下水汚泥焼却灰中の土壌由来成分と凝集沈殿剤由来成分の分画 明治大学 小林 勉、中村利廣 三機工業(株) 小松貴司
ホースター-2	C 5-12	蛍光 X 線分析法による焼却飛灰中の主成分・微量成分の定量 明治大学 大淵敦司、中村利廣
	C 5-13	流動床式焼却炉に電気抵抗式灰溶融炉を併設した施設の運転状況 岡山市 坂本賢二 石川島播磨重工業(株) 安田直明、吉成直人
ホースター-1	C 5-14	焼却灰粒子の性状に及ぼすごみ組成及び燃焼方法の影響 日本技術開発(株) 大寺泰輔 九州大学 島岡隆行
ホースター-2	C 5-15	一般廃棄物溶融スラグからの Pb の洗浄・溶出挙動による Pb の存在形態の推定 北見工業大学 伊藤純一、 戸原拓哉、土田真弓

C 6 焼却灰安定化 【 11月17日(水) 第5会場 14:15-16:15 】

	C 6-1	都市ごみ焼却灰中に存在する重金属と有機物の相互作用に関する基礎的研究(第二報) - 腐植物質共存下での鉛と銅の溶解度予測 - 日立プラント建設(株) 北村光太郎 (独)国立環境研究所 大迫政浩
ホースター-1	C 6-2	人工的土壌生成因子の作用に伴う焼却残渣の鉛不溶化現象(2) 三井造船(株) 中野彰子 九州大学 島岡隆行、崎田省吾
	C 6-3	溶融飛灰の炭酸化によるセメント削減効果と重金属溶出機構に関する研究 復建調査設計(株) 縄田大輔 宮崎大学 土手 裕、関戸知雄
	C 6-4	飛灰ダイオキシン類の無害化処理における重金属不溶化方法の研究 中外テクノス(株) 青柳美保子、内村泰造 大成建設(株) 斉藤祐二
	C 6-5	焼却灰の炭酸化に伴う鉛不溶化現象の解明 九州大学 本幡照文、島岡隆行、崎田省吾
ホースター-2	C 6-6	長期埋立実験における飛灰処理物からの重金属流出傾向 九州大学 宮脇健太郎、島岡隆行 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
	C 6-7	廃棄物溶融飛灰中の重金属類と塩分の湿式分離について 京都大学 水谷 聡、橋本 健、渡辺信久
	C 6-8	水和物による焼却灰(湿灰)の熱灼減量値増加について JFE エンジニアリング(株) 山本 浩、土井茂行、横山 隆
ホースター-1	C 6-9	都市ごみ焼却処理から発生する飛灰の低 pH 溶媒による連続溶出試験 宮崎大学 関戸知雄、土手 裕、黒木 望
ホースター-2	C 6-10	揮発脱離分解プロセスによる飛灰中重金属類の溶出低減効果 JFE エンジニアリング(株) 平山 敦、山本 浩、塩満 徹
	C 6-11	エージングによる都市ごみ焼却主灰中重金属の安定化機構の解明 京都大学 井澤琢磨、高岡昌輝、武田信生
	C 6-12	焼却残渣(主灰)からの有機物の溶出挙動とその洗浄除去 広島大学 奥田哲士、西嶋 涉、岡田光正

D 1 埋立地浸出水 【 11月17日(水) 第6会場 14:15-16:15 】

	D 1-1	浸出水処理プロセスにおける BPA および DEHP の処理特性 (独)国立環境研究所 朝倉 宏 北海道大学 松藤敏彦、田中信壽
ホースター-2	D 1-2	低 C/N 浸出水に対するコンポスト充填型脱窒処理装置に関する研究 北海道 中津隆文 北海道大学 松藤敏彦、田中信壽

	D 1-3	促進酸化法の組み合わせ条件による浸出水中ダイオキシン類の低減化 (株)アーシン 吉川克彦 大阪人間科学大学 福永 勲 福岡大学 松藤康司
	D 1-4	埋立地浸出水中の疎水性有機汚染物質の存在形態分析 (独)国立環境研究所 大迫政浩 韓国木甫大学 金 容珍
	D 1-5	集排水管被覆材の地盤反力確認試験結果 (株)大林組 黒岩正夫 国際航業(株) 名畑 修 東亜建設工業(株) 荻野 淳
ホースター-1	D 1-6	閉鎖埋立地浸出水中の微量有害元素について - チュニジアの例 (独)国際協力機構 吉田充夫
ホースター-2	D 1-7	廃棄物処分場浸出水中に溶存する VOC の AOP による酸化分解 三重県科学技術振興センター 男成妥夫、佐藤邦彦、国分秀樹
	D 1-8	低濃度二酸化炭素を用いた処分場浸出水処理 (株)フジタ 久保田洋、岡本太郎 三井造船(株) 久芳良則
	D 1-9	埋立地における焼却残渣中の不溶性塩分の挙動について 九州大学 津留真哉、島岡隆行、趙 萍
ホースター-1	D 1-10	最終処分場浸出水中の物理化学的特性(第一報) - 浸出水処理過程における三次元蛍光スペクトル変化 - 埼玉県環境科学国際センター 川寄幹生、小野雄策、成岡朋弘
	D 1-11	廃棄物処理プロセスより発生する副生塩再利用の研究 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 福岡大学 樋口壯太郎 (株)ウエスコ 牛越健一
	D 1-12	管理型処分場における微生物注入による浸出水中の水質改善について() (株)西田興産 安藤東洋治、鍵谷 淳 環境計画センター 鍵谷 司
ホースター-2	D 1-13	降水量特性に着目した浸出水管理システムに関する研究 福岡大学 樋口壯太郎、山本 聡

D 2 埋立地しゃ水(1) 【 11月18日(木) 第5会場 9:00-11:00 】

	D 2-1	急勾配法面における現場吹き付けウレタンシートの施工に関する実証試験 西武建設(株) 成島誠一 (株)田中 村上 豊 ゼネラルボンド(株) 後藤栄太
	D 2-2	アスファルトコンクリートによる斜面しゃ水工の施工方法 (株)大林組 柴田健司、石田道彦 大林道路(株) 堀 浩明
ホースター-2	D 2-3	ベントナイト充填布製型枠遮水工法の開発 (株)大林組 日笠山徹巳 旭化成ジオテック(株) 鍋嶋靖浩 カーボフォル・ジャパン(株) 宮本 憲
	D 2-4	最終処分場遮水壁への遮水パネルの適用 (株)奥村組 桒本雅春 新日本製鐵(株) 川人健二 (株)テノックス 郡司紘一
	D 2-5	管理型廃棄物埋立護岸遮水シートの地震時変形特性 国土技術政策総合研究所 狩野真吾、小田勝也 五洋建設(株) 吉田 誠
ホースター-1	D 2-6	キャッピング工天端部にかかる張力の違いと、覆土厚さによる植生の違い 太洋興業(株) 下田宏治 大和紡績(株) 岸本宣人 三菱化学 MKV(株) 鳥居一春
ホースター-2	D 2-7	遮水シートの突起物貫入時における応力 - ひずみ挙動 国土技術政策総合研究所 狩野真吾、小田勝也 三菱化学 MKV(株) 近藤三樹郎
	D 2-8	土木遮水シート突刺し貫入試験結果の応用 三菱化学 MKV(株) 近藤三樹郎 国土技術政策総合研究所 狩野真吾、小田勝也
	D 2-9	保護マット不織布の性能試験方法 ダイニック・ジュノ(株) 清水昭二 国土技術政策総合研究所 狩野真吾、小田勝也
	D 2-10	降雨覆土浸透水量測定試験 日本国土開発(株) 今井 淳、鈴木正人、山口陽久
	D 2-11	キャピラリーバリア型覆土の性能と解析 日本国土開発(株) 坂本 篤、鈴木正人、山口陽久

D 3 埋立地しゃ水(2) 【 11月18日(木) 第5会場 15:30-17:45 】

ホースター-1	D 3-1	海面処分場での遮水シートの沈設方法について(その2) 五洋建設(株) 小久保裕 三ツ星ベルト(株) 加納 光 帝人テクノプロダクツ(株) 本名 浩
	D 3-2	海面処分場における鋼管矢板遮水壁の遮水処理問題と遮水性向上技術 京都大学 稲積真哉、木村 亮、Arap Too Jonah Kiptanui
	D 3-3	管理型処分場の底面遮水工における汚染物質の移流拡散現象に関する考察 中電技術コンサルタント(株) 近藤 良 呉工業高等専門学校 森脇武夫 広島大学 尾崎則篤
	D 3-4	廃棄物最終処分場からの漏水による地下水汚染の評価 室蘭工業大学 吉田英樹、穂積 準
	D 3-5	底部遮水工に与える廃棄物の有効応力と浸出水と地下水水位調査 (財)地域地盤環境研究所 本郷隆夫 (独)国立環境研究所 遠藤和人 (株)ホーゲン 水野克己

ホスタ-2	D 3-6	自然環境の保全と対話と情報公開を行った旭川市廃棄物処分場 (株)ホー Junction 水野克己 岡山大学 西垣 誠 京都大学 嘉門雅史
	D 3-7	コンシステンシー限界を用いた新たなベントナイト配合手法 (財)地域環境地盤研究所 藤原照幸 (株)ホー Junction 水野克己 (独)国立環境研究所 遠藤和人
ホスタ-2	D 3-8	最終処分場における多重安全システムの研究 清水建設(株) 大野文良
	D 3-9	検知・修復型クレイライナーシステムにおけるコロイド溶液の沈降特性と遮水性能 北海道大学 川口光雄、古市 徹、谷川 昇
	D 3-10	ポリマー注入材を用いた修復性遮水ライナーの開発 鹿島建設(株) 小澤一喜、伴野 茂 三ツ星ベルト(株) 加納 光
	D 3-11	超吸水膨潤性繊維を用いた遮水システムの模擬処分場を活用した実証実験 (株)ブリヂストン 柏木哲也、原田高志 宇都宮大学 今泉繁良
	D 3-12	しゃ水シートの漏水検知・補修システムの開発 (株)大林組 光本 純 応用地質(株) 小林 剛 太洋興業(株) 吉田和久

D 4 埋立地安定化(1) 【 11月17日(水) 第1会場 9:30-11:30 】

	D 4-1	廃棄物充填カラムによる浸出水安定化の検討 (財)長野県廃棄物処理事業団 山本一海 長野県環境保全研究所 土屋としみ、鹿角孝男
	D 4-2	焼却残渣主体のごみ埋立地において生成した腐植物質の性質 九州大学 李 政準、島岡隆行、宮脇健太郎
	D 4-3	安定化促進工法が最終処分場内の微生物群集構造の変遷に与える影響 (独)国立環境研究所 石垣智基、山田正人 埼玉県環境科学国際センター 小野雄策
	D 4-4	浸出水の水温と汚濁物による埋立地の安定化の判定手法 福岡大学 柳瀬龍二、平野文昭、松藤康司
	D 4-5	産業廃棄物最終処分場(管理型)の安定化について 富山県環境科学センター 笹島武司、土原義弘、川崎清人
	D 4-6	強制的好気工法による廃棄物の早期安定化実証試験 福岡大学 樋口壯太郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 (有)グローバル環境システム研究所 元永優一
	D 4-7	人工散水による埋立地の早期安定化に関する検討 ユニチカ(株) 村山彰宏 福岡大学 樋口壯太郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
ホスタ-1	D 4-8	廃棄物埋立地の早期廃止、安定化促進に関する研究 福岡大学 木崎 稔、樋口壯太郎 (株)クボタ 吉崎耕大
	D 4-9	埋立前処理としての洗浄操作が浸出水におよぼす影響調査 ユニチカ(株) 三角文彦 福岡大学 樋口壯太郎 福岡県リサイクル総合技術センター 花嶋正孝

D 5 埋立地安定化(2) 【 11月19日(金) 第2会場 11:00-12:30 】

ホスタ-2	D 5-1	一般廃棄物最終処分場における搬入物の有機物・金属負荷の実態調査 北海道大学 東條安匡、濱田雄平、田中信壽
ホスタ-1	D 5-2	1m 深地温測定による廃棄物層(有機物)の3次元分布探査 日本技術開発(株) 田中英幸 福岡大学 樋口壯太郎 日本技術開発(株) 渡辺俊一
ホスタ-2	D 5-3	X線回折分析による硫化水素発生抑制資材の検索および性能試験手法の構築 埼玉県環境科学国際センター 成岡朋弘、小野雄策 埼玉大学 針谷隆史
	D 5-4	埋立処分場模擬槽浸出水を用いた硫化水素の発生および発生抑制に関する研究 福岡大学 武下俊宏、樋口壯太郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
	D 5-5	廃棄物掘削勾配に関する報告 (株)建設工学研究社 山内一生 福岡大学 長野修治
	D 5-6	最終処分場埋立物の無害化・資源化技術の調査および試験 ユニチカ(株) 中尾 毅、長澤松太郎 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭
	D 5-7	埋立地掘削・選別時の環境及び廃棄物の組成調査 日立建機(株) 金澤利光 福岡大学 樋口壯太郎 東和科学(株) 笹井 裕
	D 5-8	ジオシンセティクス材による最終覆土に関する実証実験報告(その1) 太陽工業(株) 安藤彰宣 前田建設工業(株) 林 克彦 (株)銭高組 岩崎則夫
	D 5-9	キャピラリーバリア効果を利用した処分場トップカバーの検討 鹿島建設(株) 小林弘明、川端淳一、薦田敏郎

D 6 埋立地モニタリング 【 11月19日(金) 第2会場 9:00-10:45 】

	D 6-1	管理型海面埋立処分場における水銀の挙動 東京都環境科学研究所 高橋昌史、庄司匡範
--	-------	---

- D 6-2 比抵抗モニタリングによる廃棄物層の性状変化把握の有効性について
千葉県環境研究センター 香村一夫 (独)国立環境研究所 Bulent Inanc
千葉県環境研究センター 原 雄
- D 6-3 管理型最終処分場の廃止基準に関する考察(3)
埼玉県環境科学国際センター 長森正尚、小野雄策 (独)国立環境研究所 山田正人
- D 6-4 廃棄物最終処分場埋立層に存在する微生物生態系の評価
(独)国立環境研究所 澤村啓美、石垣智基、山田正人
- ホースター 1 D 6-5 時系列比抵抗探査による最終処分場の内水探索
(独)国立環境研究所 遠藤和人 (株)ダイヤコンサルタント 山田直之、杉本芳博
- D 6-6 産業廃棄物安定型最終処分場の改善と搬入管理手法の提案
応用地質(株) 眞鍋和俊 福岡大学 長野修治 長崎大学 大野博之
- ホースター 2 D 6-7 最終処分場埋立ガス中の低級炭化水素成分の分布
(独)国立環境研究所 石垣智基、山田正人 埼玉県環境科学国際センター 小野雄策
- D 6-8 埋立地表面における地温とメタンフラックスの関係(4)
(独)国立環境研究所 山田正人、石垣智基 埼玉県環境科学国際センター 長森正尚
- ホースター 2 D 6-9 クローズドシステム処分場の埋立ガスモニタリングにおけるハンディタイプオープンパス型計測器の適用性
北海道大学 松尾晃治、古市 徹、谷川 昇
- D 6-10 廃石膏ボードからの高濃度硫化水素の発生機構とその対策
(独)国立環境研究所 井上雄三、朝倉 宏、山田正人

D 7 化学物質の溶出と挙動/バイオモニタリング 【 11月18日(木) 第3会場 9:00-11:00 】

- ホースター 1 D 7-1 LC/MS を用いた廃棄物関連試料に対するメラミンの分析法開発
(株)住化分析センター 吉田寧子、村上雅志 (独)国立環境研究所 鈴木 茂
- D 7-2 半揮発性有機物質を含む廃棄物の溶出揮散試験の開発
京都大学 高月 紘、渡辺信久 (株)三菱総合研究所 森 朋子
- D 7-3 廃棄物最終処分場からの外因性内分泌攪乱化学物質の排出実態調査
福島県環境センター 鈴木 仁、木賊幸子、鈴木裕司
- D 7-4 埋立処分される産業廃棄物の排出実態と溶出特性に関する基礎調査
(社)全国産業廃棄物連合会 香川智紀、杉田昭義 福岡大学 柳瀬龍二
- D 7-5 廃棄物処分場における化学・生化学的作用が重金属の挙動に及ぼす影響
京都大学 嘉門雅史、張 虎元、乾 徹
- D 7-6 廃棄物埋立処分場浸出水中の有機成分の分画分析と微生物叢の解析
東北工業大学 内田美穂、邊見 久、宿野部葵
- D 7-7 埋立廃棄物の理化学的性状と微生物叢との関係
福岡県保健環境研究所 高橋浩司、石黒靖尚、宇都宮彬
- ホースター 2 D 7-8 Ah レセプターPCR 法の廃棄物試料中ダイオキシン類測定への適用可能性
(独)国立環境研究所 大迫政浩 第一ファインケミカル(株) 坂田一登、谷岡洋平
- ホースター 1 D 7-9 埋立処分場焼却飛灰のヒメダカ初期生活段階に及ぼす毒性影響
岡山大学 炭谷晃平 (独)国立環境研究所 柏田祥策 岡山大学 小野芳朗
- D 7-10 廃棄物焼却飛灰溶出毒性評価へのヒメダカ試験系の適用
岡山大学 尾崎夏栄、小野芳朗 (独)国立環境研究所 柏田祥策
- D 7-11 最終処分場浸出水のリスク早期警戒システムの構築 - 生物試験バッテリーから見えるもの -
(独)国立環境研究所 山田正人、毛利紫乃、井上雄三
- ホースター 2 D 7-12 路上堆積物および clay pigeon からの PAHs の溶出挙動について
京都大学 水谷 聡 DHI-Water & Environment Jette B Hansen、Ole Hjelmar

E 1 PCB 処理・分析 【 11月17日(水) 第8会場 9:30-11:30 】

- E 1-1 PCB の平衡蒸気圧の測定とオルト位塩素が蒸気圧に及ぼす影響
(株)東芝 中条克彦 東北大学 柴田悦郎、中村 崇
- E 1-2 金属ナトリウム分散体法による PCB の分解メカニズム
(独)国立環境研究所 野馬幸生、酒井伸一 トヨタ自動車(株) 光原好人
- E 1-3 真空加熱分離過程における処理条件が PCB 分離性に与える影響
トヨタ自動車(株) 佐々木智子、光原好人、松山喜代志
- ホースター 1 E 1-4 PCB 含有コンデンサの洗浄処理における洗浄特性と影響因子
トヨタ自動車(株) 布尾悦朗、佐々木智子、松山喜代志
- E 1-5 金属ナトリウム単粒子と PCB との脱塩素反応プロセス解析
名古屋大学 小林敬幸、黄 宏宇 トヨタ自動車(株) 松山喜代志
- ホースター 2 E 1-6 低温 SD 無害化プロセスから生成する PCB 残渣の KOH 賦活法による活性炭化
名古屋大学 渡辺藤雄、鈴木優子 トヨタ自動車(株) 松山喜代志

- E 1-7 鉄担持活性炭による PCBs の分解
京都大学 長尾亮治、高岡昌輝、武田信生
- E 1-8 還元加熱法による高濃度 PCB 汚染土壌処理
(株)神鋼環境ソリューション 小倉正裕、川井隆夫
- ホスター-1 E 1-9 X線吸収法による PCB 判別手法の開発
(株)東芝 中根昌代、日塔光一、小長井主税
- E 1-10 金属ナトリウム分解法による絶縁油中の低濃度 PCB 測定法の検討
バイエル メディカル(株) 竹田良子 東京都立産業技術研究所 野々村誠
(独)国立環境研究所 野馬幸生
- E 1-11 金属ナトリウム法による PCB 処理過程のバイオアッセイモニタリング
(独)国立環境研究所 滝上英孝 トヨタ自動車(株) 松山喜代志 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- ホスター-2 E 1-12 PCB 迅速分析のための HPLC 自動前処理方法の検討および GC/MS 測定
(株)島津テクノリサーチ 大井悦雅、高菅卓三 三菱重工業(株) 澤津橋徹哉

E 2 ダイオキシン・微生物分解 【 11月19日(金) 第3会場 9:00-10:45 】

- ホスター-1 E 2-1 ライシーメーターを用いたダイオキシン汚染土壌のバイオレメディエーション試験
静岡理工科大学 惣田昱夫 北海道大学 古市 徹 (株)湘南びゅあ 阪上 泉
- E 2-2 新規ダイオキシン汚染土壌・底泥浄化技術の開発 ~フェントン反応法、果汁処理法、分解菌分離にわたって~
秋田県立大学 柴田 悟、植田 徹、松本 聡
- E 2-3 微生物処理技術の市場性についての考察
北海道大学 古市 徹 東和科学(株) 笹井 裕、藤満基樹
- E 2-4 微生物膜バイオリアクターによる汚濁河川水の浄化 微生物固定化担体の違いによる浄化効果への影響
東京家政大学 村上和雄、成田素子 (株)内山アドバンス 斉藤丈士
- E 2-5 白色腐朽菌 MS325 株の最適培地の探索と濃縮培養液による OCDD の分解性評価
大成建設(株) 斎藤祐二 京浜ソイル(株) 豊村良和
- E 2-6 白色腐朽担子菌による塩素化ダイオキシンの推定代謝経路
九州大学 亀井一郎、近藤隆一郎
- ホスター-2 E 2-7 Pseudallescheria boydii によるジベンゾフラン分解経路に関する研究
(株)環境管理センター 中村まこと 北海道大学 石井一英、古市 徹
- ホスター-2 E 2-8 Pseudallescheria boydii による 2,3,7,8-TCDD の分解特性と分解酵素に関する基礎的研究
同和鉱業(株) 小池啓太 北海道大学 古市 徹、石井一英
- E 2-9 バイオリアクターによる土壌中ダイオキシン類分解処理の制約条件の検討
北海道大学 石井一英、古市 徹、谷川 昇
- E 2-10 Pseudallescheria boydii の OCDD 分解酵素の活性条件と精製方法に関する基礎的研究
北海道大学 久保島賢、古市 徹、石井一英

E 3 土壌・地下水汚染 【 11月17日(水) 第6会場 9:30-11:30 】

- E 3-1 マグネシウム系固化材を用いた重金属等汚染土壌の固化・不溶化処理事例
(株)鴻池組 大山 将、小山 孝、日高 厚
- ホスター-1 E 3-2 ヒ素汚染地下水の簡易処理技術の検討
愛媛大学 山下正純、栃木一絵、本田克久
- E 3-3 有機ヒ素汚染土壌の浄化に関する基礎研究
(独)産業技術総合研究所 徳永修三 三井造船(株) 加藤洋一
- E 3-4 高比重泥水を用いた汚染土壌の封じ込め技術(実証施工)
西武建設(株) 三村 卓 (株)ホーヴェン 高橋 聡 (株)浅沼組 浅田 毅
- ホスター-2 E 3-5 汚染土壌の洗浄に係る基礎的研究
(財)関西環境管理技術センター 武甕孝雄、寺下敬次郎 (株)竹中工務店 両角昌公
- E 3-6 土壌・地下水汚染の資源化に向けた修復技術の選択に関する研究
(株)クボタ 鈴木隆弘 (株)大林組 峠 和男 北海道大学 古市 徹
- E 3-7 加熱焙焼法による汚染土壌修復
三重中央開発(株) 井上吉一 三菱重工業(株) 仙波範明、本多裕姫
- ホスター-1 E 3-8 室内カラム実験に基づく微生物の土中移動特性
岐阜大学 佐藤 健、高見澤一裕、藤原俊明
- E 3-9 ベンゼンに汚染されたシルト層の原位置浄化方法
東邦ガス(株) 桐山 久 (株)大林組 竹崎 聡、峠 和男
- E 3-10 熱処理された汚染土壌の有効利用について
東亜建設工業(株) 御手洗義夫、笹井 剛 平成環境(株) 金谷泰邦

ポスター-2	E 3-11	簡易土壌汚染診断システムによる土壌汚染の判定 (財)関西環境管理技術センター 樋口一郎、村下淳子、武蔵孝雄
ポスター-1	E 3-12	産業廃棄物不法投棄現場における浸出水流出経路調査への高密度電気探査の適用 (株)建設技術研究所 和田卓也 北海道大学 古市 徹、石井一英
ポスター-2	E 3-13	原位置フラッシング法による廃棄物不法投棄現場修復 (株)クボタ 堀井安雄、寺尾 康、米津雄一
ポスター-2	E 3-14	廃棄物の不法投棄データ管理システムの提案 東和科学(株) 森下兼年 北海道大学 古市 徹 東和科学(株) 伊藤 創
	E 3-15	重金属類汚染土壌の汚染モニタリング評価への植物の適用可能性 岡山大学 矢吹 徹、山田垂矢、小野芳朗
ポスター-1	E 3-16	数値シミュレーションを用いた土壌・地下水汚染現場における汚染拡散防止対策の検討 北海道大学 佐藤康行、古市 徹、石井一英
ポスター-2	E 3-17	自治体の土壌・地下水汚染対策を支援するための事例データベースの設計 北海道大学 佐藤雄大、古市 徹、石井一英

E 4 有害性試験 【 11月18日(木) 第8会場 9:00-11:00 】

	E 4-1	不法投棄された硫酸ピッチの分析について 三重県科学技術振興センター 吉村英基、加藤 進、高橋正昭
	E 4-2	不法投棄廃棄物等に含まれる化学物質の包括的計測手法の開発に関する研究(中間報告) (独)国立環境研究所 鈴木 茂、安原昭夫、酒井伸一
ポスター-1	E 4-3	LC/MS による不法投棄廃棄物中化学物質のスクリーニング法の検討 大阪府環境情報センター 上堀美知子 (独)国立環境研究所 鈴木 茂
	E 4-4	ごみ溶融スラグの拡散溶出試験における攪拌強度と温度の影響 秋田工業高等専門学校 肴倉宏史、鈴木 天、高貝直樹
	E 4-5	医療(感染性)廃棄物の中間処理の滅菌効果及び安全性の評価 岡山大学 朴 明玉、青山 勲、田中 勝
	E 4-6	防腐処理木材のエームス変異原性 神奈川県環境科学センター 吉野秀吉、坂本広美、斉藤邦彦
ポスター-2	E 4-7	廃棄物焼却灰溶出試料の生態毒性試験における浸透圧の影響 東京工業高等専門学校 古儀さやか、庄司 良 岡山大学 小野芳朗
ポスター-1	E 4-8	不法投棄廃油のキャラクタリゼーション (独)国立環境研究所 松永充史、安原昭夫、宇智田奈津代
	E 4-9	石炭火力発電所より発生するフライアッシュのバリリゼーション評価(3) INSA-Lyon 田野崎隆雄 新潟大学 林 錦眉 (株)ウエスコ 宗村邦嗣
	E 4-10	欧州規格による廃棄物のキャラクタリゼーションについて(2) (財)クリーンジャパンセンター 中村和史 INSA-Lyon 田野崎隆雄 (財)岡山県環境保全事業団 築谷淳志
ポスター-2	E 4-11	道路近傍ツツジ葉中の多環芳香族炭化水素類の濃度分布 岡山大学 山本高士、小野芳朗、荒川研佑
	E 4-12	廃棄物安全性評価のための曝露経路とバイオアベイラビリティの検討 岡山大学 山田垂矢、小野芳朗

E 5 有害廃棄物処理 【 11月19日(金) 第3会場 11:00-12:30 】

ポスター-1	E 5-1	採血管の電解水による適正処理技術の開発 - 前処理段階 - 富山県立大学 大藤友也、加藤明久、立田真文
	E 5-2	六価クロム含有廃液の無害化処理技術の開発 (株)東芝 遠田正見、保坂克美 核燃料リサイクル開発機構 佐野一哉
	E 5-3	脱脂したコーヒー豆を吸着剤として用いた重金属イオンの除去 宮崎大学 貝掛勝也、馬場由成 佐賀県工業技術センター 帆秋圭司
	E 5-4	酢酸及びフェノールの超臨界水酸化反応に対するチタン酸金属塩の触媒効果 東京大学 高橋史武、竹中進太郎、山本和夫
ポスター-2	E 5-5	ベンゼンヘキサクロリド(BHC)のアルカリ/Pd触媒による脱塩素処理 (独)産業技術総合研究所 浮須祐二、宮寺達雄
ポスター-2	E 5-6	硫酸ピッチ処理の検討 呉羽環境(株) 福田弘之、大岡幸裕、草野洋平
	E 5-7	硫酸ピッチ中和物の熱分解特性について 呉羽環境(株) 福田弘之、大岡幸裕、草野洋平
ポスター-1	E 5-8	化学処理法による POPs 処理実証試験 (株)荏原製作所 戸田久之、金子博太郎、谷口 紳

- ホスタ-2 E 5-9 CCA 処理木材の焼却処理に伴う CCA 成分の挙動調査例
北海道環境科学研究センター 阿賀裕英、酒井茂克、加藤拓紀
- ホスタ-1 E 5-10 不法投棄における支障除去対策工の事例
不動建設(株) 桑原正彦、竹尾吾一、岡田 操
- E 5-11 使用済み核燃料再処理工程で発生する放射性ヨウ素ガスのアルカリ岩鉱物による直接回収
(独)産業技術総合研究所 鈴木正哉 豊田中央研究所 藤田 悟 名古屋大学 鈴木憲司
- E 5-12 アルミニウム共存下におけるテトラフルオロホウ酸イオンの生成と分解
東北大学 溝口忠昭、吉岡敏明、片桐絢也
- ホスタ-2 E 5-13 高度水銀耐性鉄酸化細菌の固定化担体を用いた水銀廃液からの水銀気化回収
岡山大学 竹内文章、杉尾 剛、河原長美

E 6 有害廃棄物処理・豊島 【 11月17日(水) 第1会場 14:15-16:00 】

- E 6-1 豊島産業廃棄物不法投棄事件の公的負担と住民の直接・間接負担
鹿児島大学 長嶋俊介 九州通信ネットワーク(株) 安達浩昭 奈良女子大学 長坂弘美
- E 6-2 豊島産業廃棄物等処分地北海岸の修復によるアマモ場の回復
香川県 山下彰子、山賀賢一、岡市友利
- E 6-3 豊島産業廃棄物等処理事業 高度排水処理施設の稼働状況について
(株)クボタ 堀井安雄、寺尾 康 香川県 茂中浩司
- E 6-4 豊島産業廃棄物の掘削・混合作業中の発火に係る原因究明
香川県環境保健研究センター 藤田久雄、藤田淳二、岡市友利
- E 6-5 生石灰の添加による豊島産業廃棄物等からの水素発生
香川県環境保健研究センター 西原幸一、藤田淳二、岡市友利
- E 6-6 豊島産業廃棄物等の溶融処理 ~ 回転式表面溶融炉の処理特性 ~
(株)クボタ 阿部清一、中井志郎 香川県 山下彰子
- E 6-7 豊島産業廃棄物等の溶融処理 ~ 小爆発事故の原因と再発防止対策 ~
(株)クボタ 佐藤 淳、後藤謙治 香川県環境保健研究センター 西原幸一
- ホスタ-1 E 6-8 豊島産業廃棄物等の溶融処理 ~ 副成物の再資源化 ~
(株)クボタ 阿部清一、後藤謙治 香川県 松浦幹郎
- ホスタ-2 E 6-9 豊島産業廃棄物等の溶融処理 ~ 安全性再評価 ~
(株)クボタ 阿部清一、佐藤 淳、中井志郎

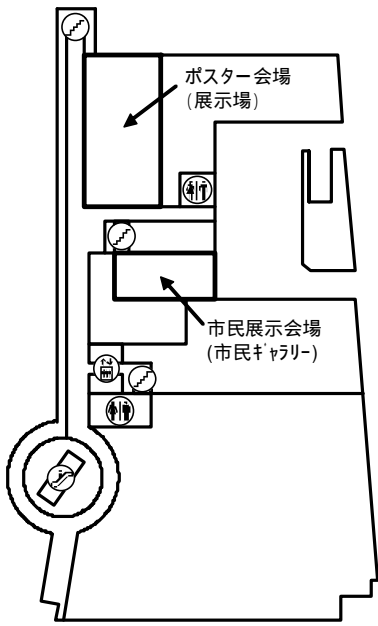
F International session 【 Wednesday, November 17 Exhibition Hall 11:30-13:00 】

- poster1 F 1-1 Eco-Efficiency of Plastic Recovery Strategies in Hyogo Eco Town Project
Helmut Friedrich Yabar, Tohru Morioka, Osaka University
- poster1 F 1-2 Municipal Solid Waste Management in Indonesia:Problems and Prospects
Sukandar, Masaru Tanaka, A.V.Shekdar, Okayama University
- poster1 F 1-3 Effect of Tourism Activities to Municipal Solid Waste Characteristics in Bali Island-Indonesia
Mochammad Chaerul, Masaru Tanaka, A.V Shekdar, Okayama University
- poster1 F 1-4 Solid Waste Recycling in Dhaka City, Bangladesh
Aminur Rahman Biswas, Dhaka City Corporation
Tsuyoshi Ito, Akio Ishii, Pacific Consultants International
- poster1 F 1-5 Community Level Solid Waste Management in Dhaka City
Shafiqul Islam, Md. Abdul Motaleb, Dhaka City Corporation
Kihachiro Urushibata Pacific Consultants International
- poster1 F 1-6 Environmental Evaluation of Waste Tires Recovery System
Mario Leon Suematsu, Osaka University
Kiyotaka Tsunemi, Research Center for Chemical Risk Management
Tohru Morioka, Osaka University
- poster1 F 2-1 ALDBase-A Database of landfills and dump sites in Asian countries
Bulent Inanc, Atsushi Terazono, Shinichi Sakai, National Institute for Environmental Studies
- poster1 F 2-2 Potentially Toxic Elements Concentration in Decomposed Waste Residues Collected from a Closed Solid Waste Landfill
Abdoul Nasser Ibrahim, INRST Mitsuo Yoshida, JICA Jamila Tarhouni, INAT
- poster1 F 2-3 Weathering in mono landfill site-a comparison with soil weathering
Ruina Zhang ,Takayuki Shimaoka , Kyushu University
- poster1 F 2-4 The Evaluation of Geosynthetic Clay Liner within the final cover system as a barrier layer in the landfill
Jung-Lan Lee, Chul-Hwan Moon, The University of Seoul
Jai-Young Lee, Dohwa Consulting Engineering Corporation

- poster1 F 2-5 The attenuation of heavy metal of leachate in the Bioreactor system with Organic Contents.
Mi-Ji Shin, In-Ho Jung, Jai-Young Lee, The University of Seoul
- poster1 F 2-6 Characteristic of the Recycling of Solidated Sewage Sludge as a Daily Cover in the Landfill.
Bong-Joon Song, Jai-Young Lee, The University of Seoul
Ha-Ik Chung, Korea Institute of Construction Technology
- poster1 F 3-1 TEMPERATURE EFFECT ON SELECTIVE SEPARATION OF METAL IN FLUE GAS AT SEWAGE SLUDGE COMBUSTION
Premrudee Kanchanapiya, Takeo Sakano, Tokuyoshi Mikuni, Kanazawa University
- poster1 F 3-2 Inhibition of Chlorinated Aromatic Compounds from Municipal Solid Waste Incinerators By Urea
Jenny S. Komatsu, Masaki Takaoka, Nobuo Takeda, Kyoto University
- poster1 F 3-3 Markov Chain Simulation of Solid Waste Fuel Flow and Mixing on the Reverse Acting Grate
Masato Nakamura, Marco J. Castaldi, N. J. Themelis, Columbia University
- poster1 F 3-4 The behavioral characteristics of PCDDs/DFs at the inlets and outlets of wet scrubbers in waste incinerators ()
Ki-In Choi, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
Sam-Cwan Kim, National Institute of Environmental Research
- poster1 F 3-5 The behavioral characteristics of PCDDs/DFs at the inlets and outlets of wet scrubbers in waste incinerators ()
Ki-In Choi, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
Sam-Cwan Kim, National Institute of Environmental Research
- poster1 F 3-6 The effect of moisture on the gasification of MSW
Jeong-Hoon Kim, Kang-Soo Lee, Sung-Keun Bae, Changwon National University
- poster1 F 4-1 Metallic and Non-metallic Phases in Municipal Solid Waste(MSW) Slag
Amirhomayoun Saffarzadeh, Takayuki Shimaoka, Yoshinobu Motomura, Kyushu University
- poster1 F 4-2 Characteristics of PCDDs/PCDFs in melted slag by cooling methods
Hyun-Tae Joung, Yong-Chil Seo, Yonsei University
Ki-Heon Kim, National Institute of Environ. Research
- poster1 F 4-3 Utilization of Ash Slag from Municipal Waste Incineration
Kyoung-Hee Kim, Jea-Keun LEE, Pukyung National University
- poster1 F 4-4 Photo-catalytic effect of adsorbent prepared by MSWI fly ash
Woo-Keun Lee, Young-Suk Shim, Dong-Seok Rhee, Kangwon National University
- poster1 F 5-1 Measurement on Vapor Pressure of Metallic Chloride Systems by the Knudsen Effusion Method
Yan-ling Zhang, Eiki Kasai, Takashi Nakamura, Tohoku University
- poster1 F 5-2 Preliminary study for determination of PCDDs/Fs content in the wastewater and sewage sludge samples from a single municipal WWTP
Sylwia Oleszek-Kudlak, Etsuro Shibata, Takashi Nakamura, Tohoku University
- poster1 F 5-3 The distribution characteristics of coplanar PCBs in ambient air of 'K-area', Korea
Jong-Sook Han, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
Dong-Gi Kim, Gyeonggido Institute of Health & Environment
- poster1 F 5-4 Methane Generation Potential and Biodegradability of the MSW in Korea
Sung-Jin Bae, Eun-jeong Jeon, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- poster1 F 6-1 Development of Quantitative Analysis System for Microaerobic Decomposition Reaction in Composting
Bongochgetsakul Nattakorn, Tetsuya Ishida, the University of Tokyo
- poster1 F 6-2 The Life Cycle Assessment for Foodwaste Treatment in Korea
Sung-Han Yoon, Sung Hwan Kwon, The University of Seoul
Dong Hyuk Choi, Andong national University
- poster1 F 6-3 The leaching of manganese and zinc from spent alkaline manganese battery using hydrogen peroxide as a reducing agent.
Shun-Myung Shin, Jeong-Soo Sohn, Dong-Hyo Yang, Korea Institute of Geoscience & Mineral Resources
- poster1 F 6-4 The effect of garbage disposer system on the influent loading rate of domestic waste water facilities in apartment
Sung-Hoon Oh, Il-Woo Park, Sung-Keun Bae, Changwon National University

会場案内図（サンポートホール高松）

1 F



3 F

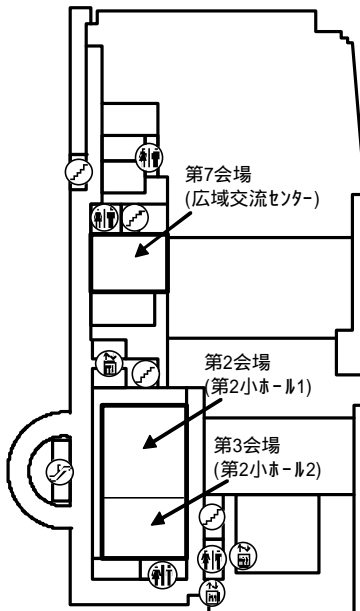


4 F

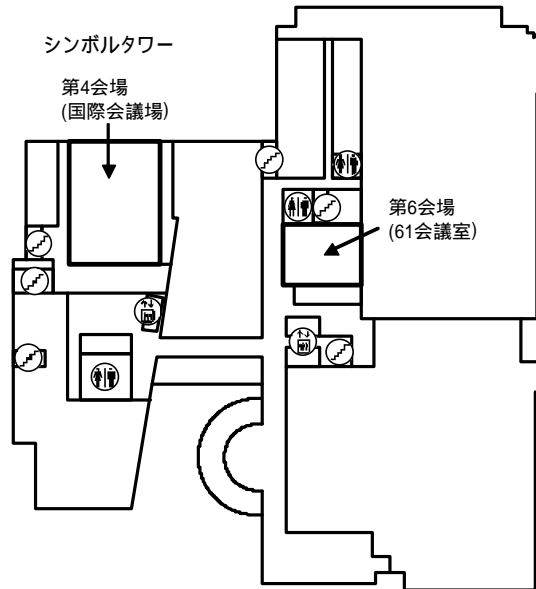


シンボルタワー横の丸い透明な建物の中のエスカレータを4階まで上がってください。

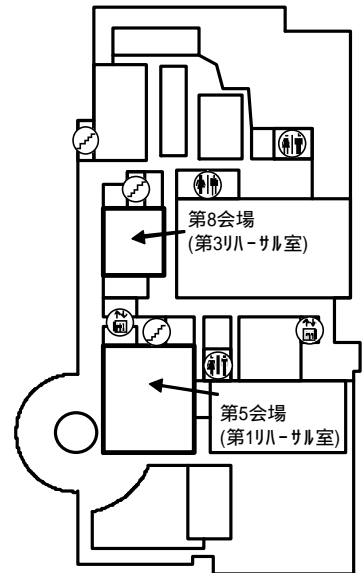
5 F



6 F



7 F



年会委員会企画シンポジウムの会場は香川県県民ホール
(研究発表会場より徒歩約10分、p4参照)
懇親会会場は全日空ホテルクレメント高松
(研究発表会会場の隣、p4参照)